

2023年度 亀田医療大学

学生生活満足度・実態調査報告書

1. 調査目的

本調査は、亀田医療大学の学生支援体制およびキャンパス環境に対して、学生がどの程度の満足を得ているのかを把握し、さらに、得られた結果から、学生支援およびキャンパス環境の課題を明確にし、学生生活の充実に資することを目的とする。また、学生の修学状況や課外活動等の学生生活の現状を的確に把握し、今後の大学運営や学生生活の環境整備、将来的な大学計画の参考にする事を目的とする。

2. 調査対象

2023年7月時点で本学に在籍する全学生を対象とした。

3. 調査期間

2023年7月11日から7月26日まで

4. 調査方法

学生に調査目的と趣旨を説明し、自由意思による調査協力を依頼した。QRコードを配布し、iPadから記名式で回答を求め、成績評価には一切関係ないことを説明した。

5. 調査項目

アンケートの主要項目として、「Ⅰ.学生支援」6項目、「Ⅱ.屋内施設」8項目、「Ⅲ.屋外施設」3項目、「Ⅳ.大学生活全般」6項目の満足度に関する質問内容を設定し、「Ⅴ.総合的な学生生活」に対する満足度を加えた。また、実態調査の項目として、「Ⅵ.現在の生活状況」は通学時間や生活費やアルバイトの状況に関する8項目、「Ⅶ. 修学の状況」は学修時間や不明点の対応に関する4項目、「Ⅷ. 学生自治会・学生団体（部、サークル）活動」は学生自治会・学生団体（部、サークル）活動やボランティア活動の参加状況に関する3項目、「Ⅸ. 学生生活の悩み」は2項目を質問内容とした。さらに、「Ⅰ」～「Ⅳ」の各設問の最後に回答理由や意見を記入するための自由記載欄を設け、調査用紙の最後に具体的な意見等を記入するための「Ⅹ. 自由記載」を設けた。

6. 調査結果

本調査で対象とした学生は278名(休学者9名除く)であった。そのうち、回答の得られた学生177名(回収率：63.7%)を分析対象とした。

表1 学年別の回収率

学年(人数)	回答数	回収率
1年生(78名)	44名	56.4%
2年生(51名)	31名	60.8%
3年生(75名)	41名	54.7%
4年生(74名)	61名	82.4%
総数(278名)	177名	63.7%

(参考資料)表2 男女別の構成比

性別	1年生	2年生	3年生	4年生	合計	構成比
男性	8名	5名	6名	9名	28名	15.8%
女性	36名	26名	35名	52名	149名	84.2%

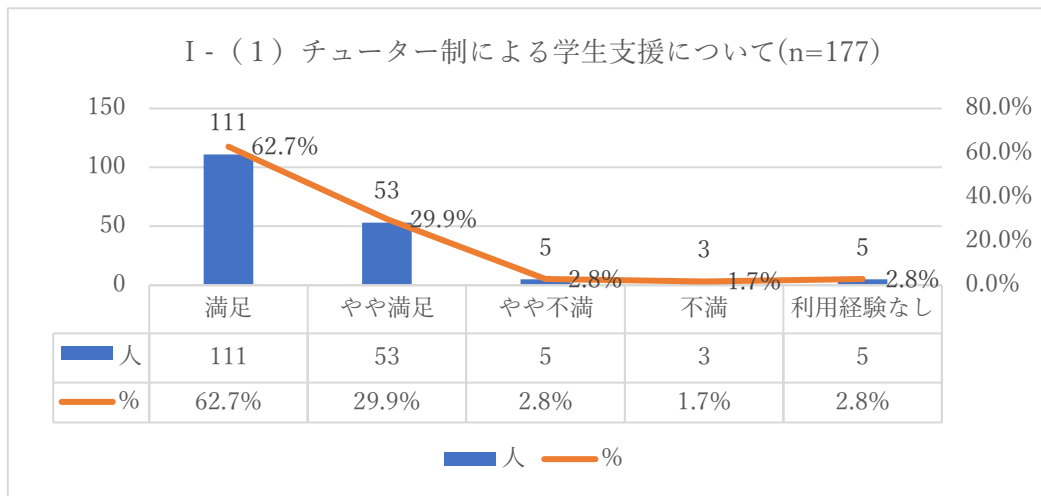
「I.学生支援」に対する満足度

(1) チューター制による学生支援に対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は5人(2.8%) /177人で、前年(2.6%)と横ばいだった。また、それ以外の学生172人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」62.7%、「やや満足」29.9%を合わせた割合は92.6%で、前年(90.9%)からやや上昇していた。
- ② 「不満」1.7%、「やや不満」2.8%を合わせた割合は、4.5%で、前年(9.0%)から半減していた。
- ③ 自由記載では、「チューターによって受験などへのサポート体制が全く違って、時々不公平に感じることもある」「チューターを選ばない」「関心がなさそうで話しづらい」という意見があった。

チューター制度に対しては9割の学生が満足しているが、少人数ではあるが利用経験なしの学生が前年と同様の割合で居ることやチューターに関する様々な意見や要望がある。

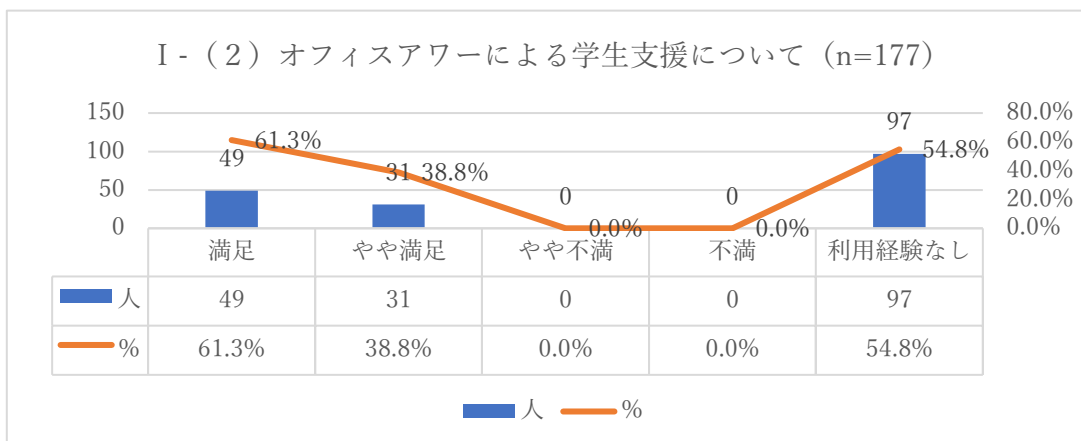


(2) オフィスアワーによる学生支援に対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は97人(54.8%) /177人で、前年(51.5%)より割合は上昇していたが、人数は減少していた。前年同様、学生の約半数はオフィスアワーの利用経験が無かった。また、それ以外の学生80人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」61.3%、「やや満足」38.8%を合わせた割合は、100.0%であった。
- ② 「不満」、「やや不満」と回答した学生は無かった。

オフィスアワーを利用した学生数は前年より減少しているが、利用した学生全員が満足していた。また、前年同様、約半数の学生はオフィスアワーの利用経験がない。

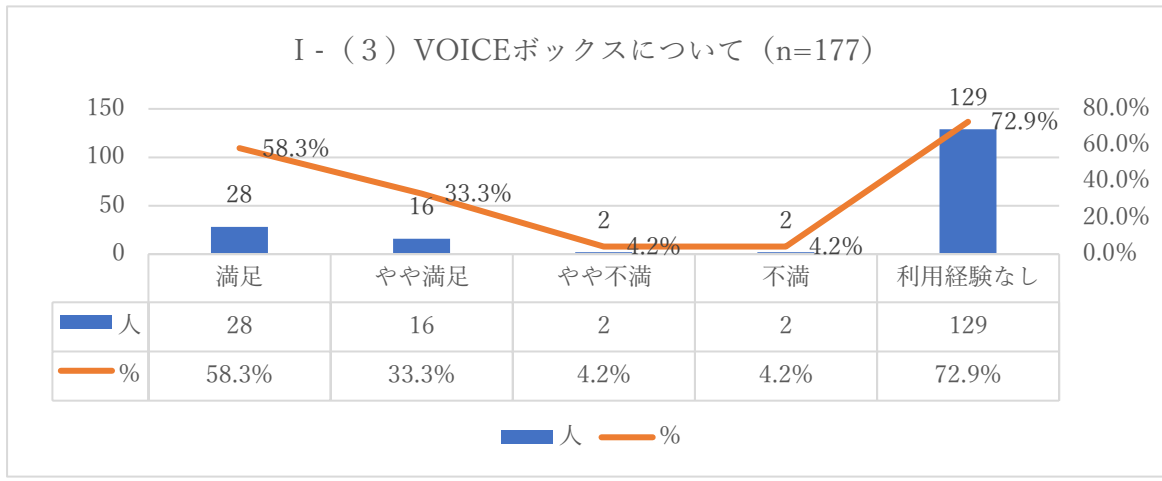


(3) VOICE ボックスに対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は 129 人 (72.9%) /177 人で、前年 (71.8%) とほぼ横ばいであった。また、それ以外の学生 48 人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」 58.3%、「やや満足」 33.3%を合わせた割合は、91.6%であった。
- ② 「不満」 4.2%、「やや不満」 4.2%を合わせた割合は、8.4%であった。
- ③ 自由記載では、「ボックスに送っても返信がないから」という意見があった。

VOICE ボックスを利用した学生の人数は前年より減少していたが、人数割合は約 3 割と前年同様だった。利用した学生の 9 割は満足している。また、自由記載の回答から、VOICE ボックスへの回答の揭示が全学生に周知されていないと考えられる。

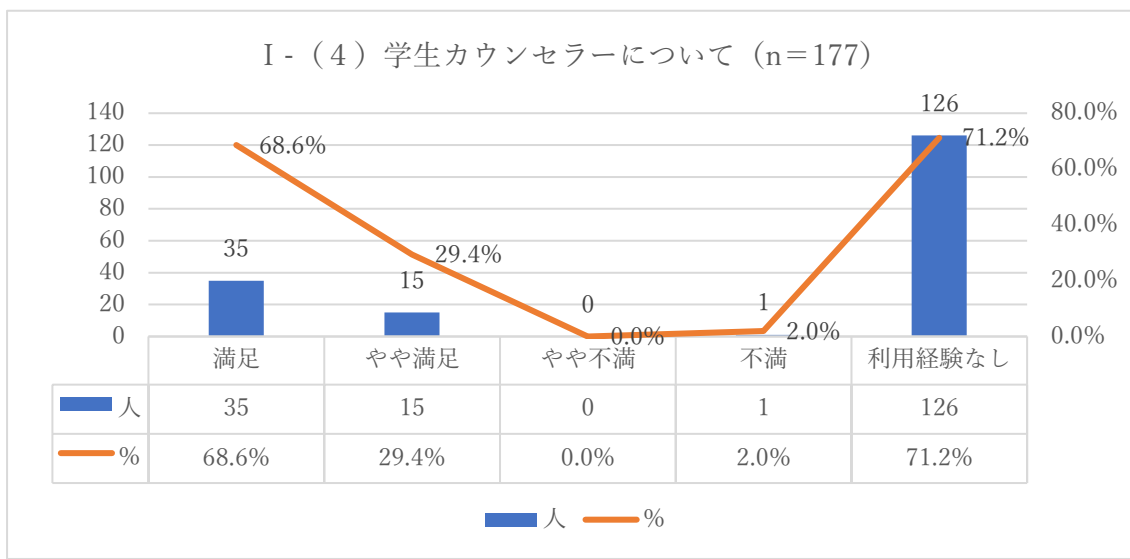


(4) 学生カウンセラーに対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は 126 人 (71.2%) /177 人で、前年 (72.2%) とほぼ横ばいであった。また、それ以外の学生 51 人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」 68.6%、「やや満足」 29.4%を合わせた割合は、98.0%であった。
- ② 「不満」 2.0%、「やや不満」 0.0%を合わせた割合は、2.0%であった。

学生カウンセラーを利用した学生の割合は横ばいであり、利用した学生の殆どが満足している。

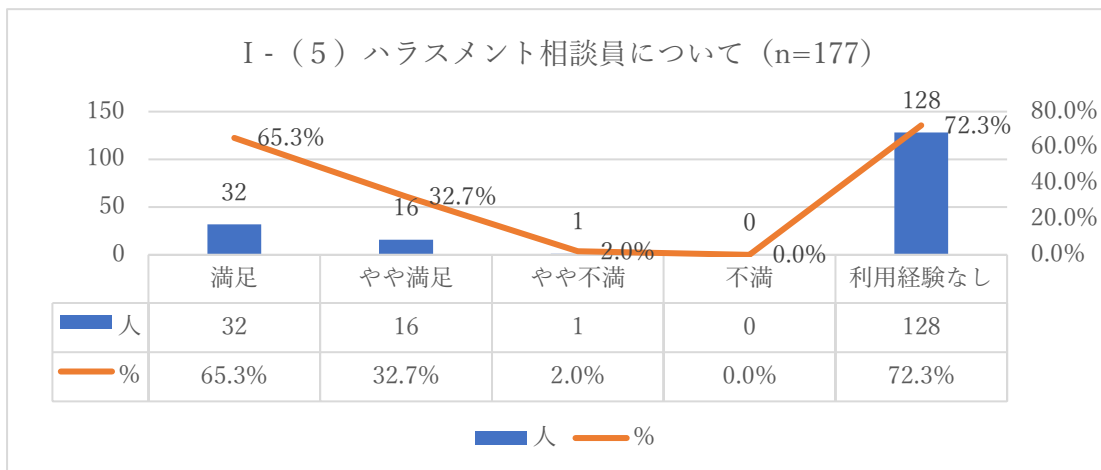


(5) ハラスメント相談員に対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は 128 人 (72.3%) /177 人で、前年 (77.1%) よりやや減少していた。また、それ以外の学生 49 人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」 65.3%、「やや満足」 32.7%を合わせた割合は、98.0%であった。
- ② 「不満」 0.0%、「やや不満」 2.0%を合わせた割合は、2.0%であった。

ハラスメント相談員を利用した学生の割合はやや減少し、学生は概ね満足している。

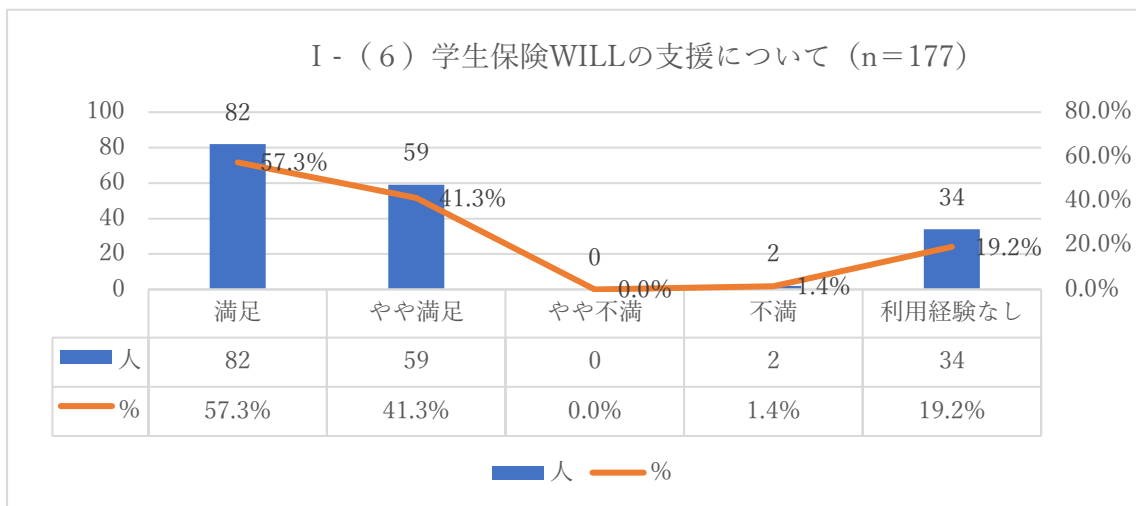


(6) 学生保険 (WILL) の支援に対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は 34 人 (19.2%) /177 人で、前年 (28.6%) から約 9 ポイント減少していた。また、それ以外の学生 143 人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」 57.3%、「やや満足」 41.3%を合わせた割合は、98.6%であった。
- ② 「不満」 0.0%、「やや不満」 1.4%を合わせた割合は、1.4%であった。
- ③ 自由記載では、「申請がめんどくさい」という意見があった。

学生保険 (WILL) を利用した学生の割合は増加している。これは、WILL の適応範囲に新型コロナウイルス感染症が含まれ、該当者が一定数いたことが前年に引き続き影響要因の一つであると考えられる。
また、利用した学生のほとんどは満足している。



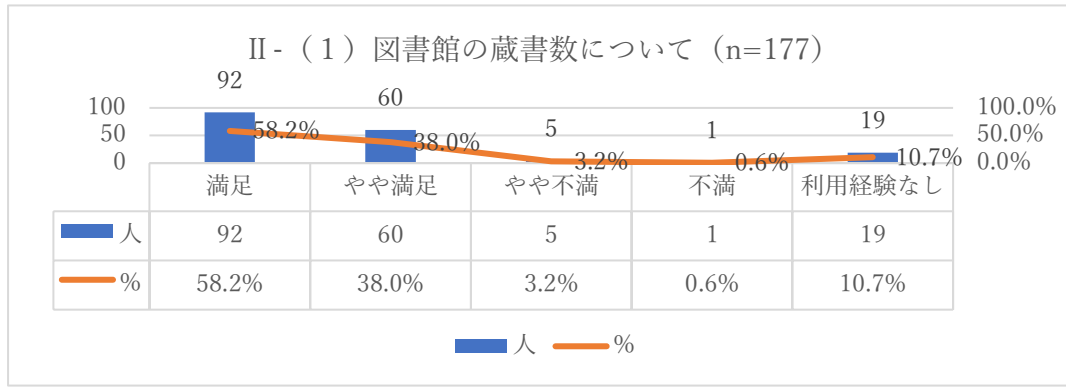
「II.屋内施設」に対する満足度

(1) 図書館の蔵書数に対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は19人(10.7%) /177人で、前年(8.8%)から約2ポイント増加していた。また、それ以外の学生158人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」58.2%、「やや満足」38.0%を合わせた割合は、96.2%であった。
- ② 「不満」0.6%、「やや不満」3.2%を合わせた割合は、3.8%であった。
- ③ 自由記載では、「課題本が必要となった時に、図書室で1桁ほどしか置かれていなく、学校での課題で必要なものであるため、用意をしてほしい」という意見があった。

図書館を利用したことのない学生の割合は微増し、9割強の学生は蔵書数に満足しているが、講義で使用する課題図書の蔵書を増やして欲しいという意見がある。

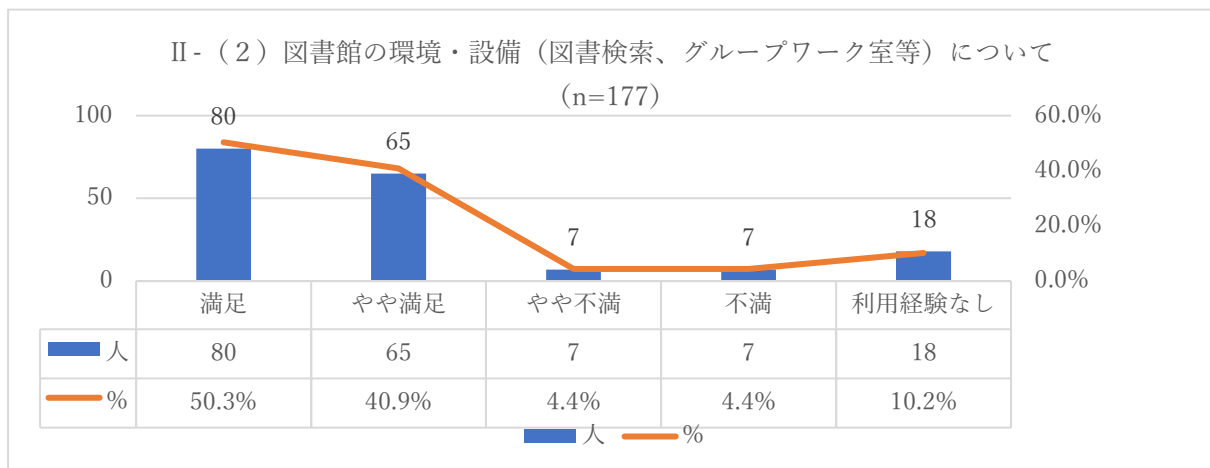


(2) 図書館の環境・設備(図書検索、グループワーク室等)に対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は18人(10.2%) /177人で、前年(11.5%)と同様であった。また、それ以外の学生159人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」50.3%、「やや満足」40.9%を合わせた割合は、91.2%であった。
- ② 「不満」4.4%、「やや不満」4.4%を合わせた割合は、8.8%であった。
- ③ 自由記載では、「図書館のパソコンが使用できないため、書籍の検索が行えず、文献を探すのが大変」、「確実に静かな環境が図書館しかないが図書館はコンセントがなくて作業しにくいことがある」という意見があった。

図書検索やグループワーク室等を利用したことのない学生の割合は横ばいであり、9割の学生は図書館の環境・設備に満足しているが、図書館の文献検索システムについての意見がある。

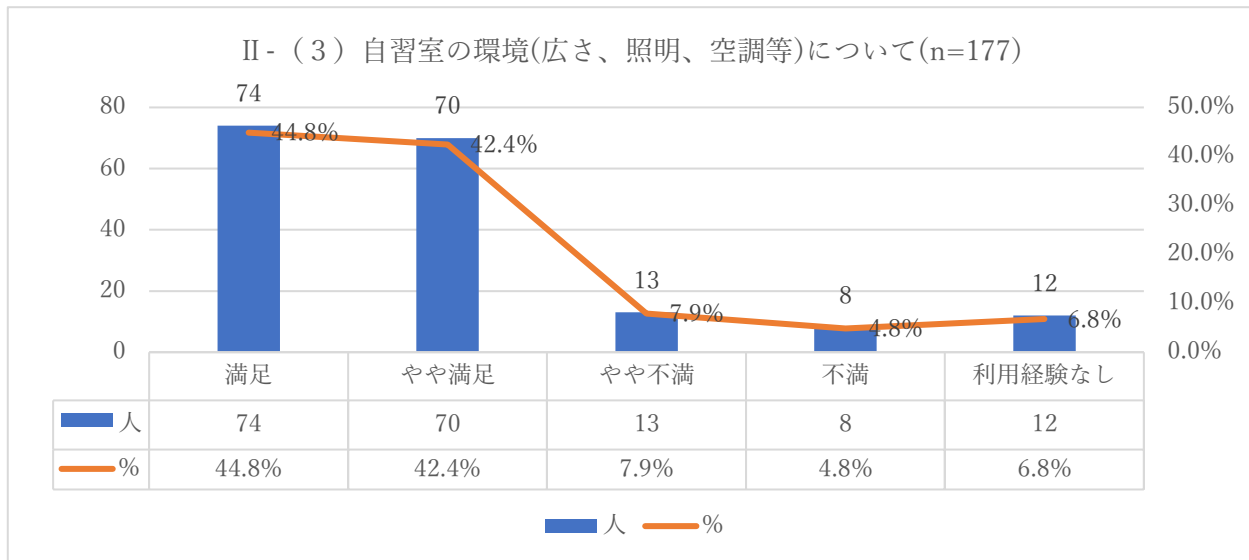


(3) 自習室の環境（広さ、照明、空調等）に対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は 12 人（6.8%）/177 人で、前年（3.1%）から増加していた。また、それ以外の学生 165 人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」（44.8%）、「やや満足」（42.4%）を合わせた割合は、87.2%であった。
- ② 「不満」4.8%、「やや不満」7.9%を合わせた割合は、12.7%であった。
- ③ 自由記載では、「席数が少なく、利用できないことがあった」「日曜祝日も空けて欲しい」という意見があった。

自習室の利用経験がある学生の割合（93.2%）はやや減少しており、8割強の学生は満足しているが、自習室の座席数や開放時間についての意見がある。

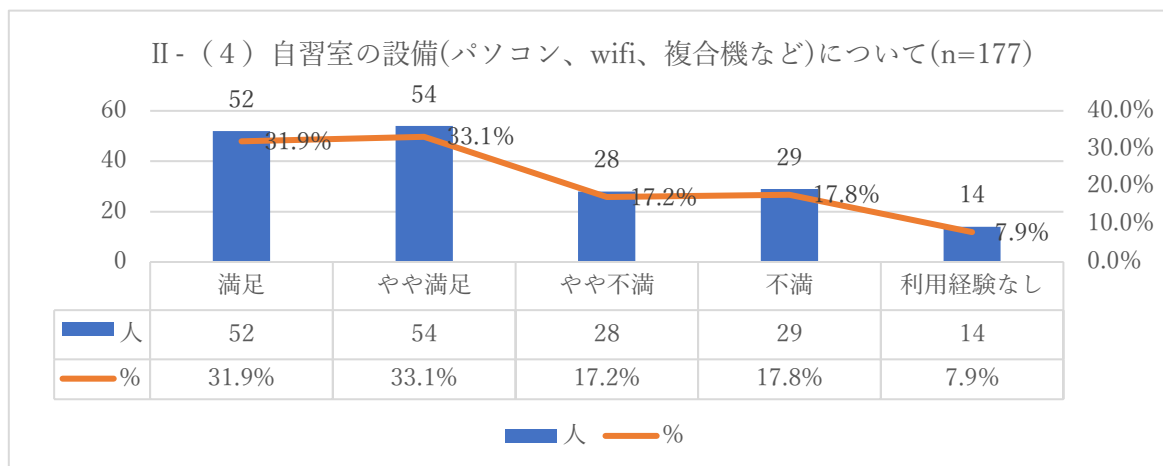


(4) 自習室の設備（パソコン、Wi-Fi、複合機等）に対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は 14 人（7.9%）/177 人で、前年（2.6%）から増加していた。また、それ以外の学生 177 人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」31.9%、「やや満足」33.1%を合わせた割合は、65.0%であった。
- ② 「不満」17.8%、「やや不満」17.2%を合わせた割合は、35.0%であった。
- ③ 自由記載では、前年同様、「Wi-Fi が繋がらない」「PC や印刷機の不調が多い」などの意見が多数あった。

自習室の設備の利用経験がある学生の割合は微減し、6割強の学生は満足しているが、前年度に引き続き Wi-Fi 接続や PC と複合機の接続についての意見がある。

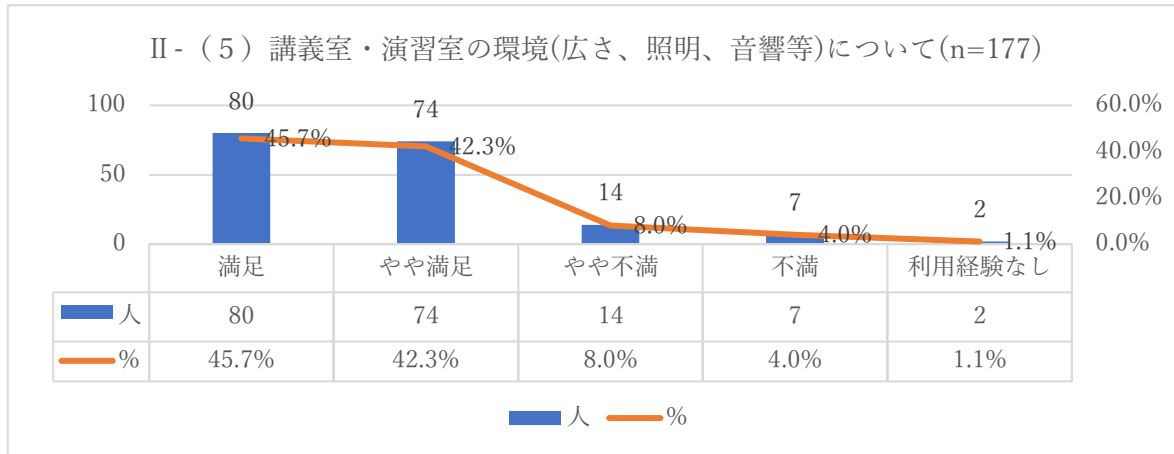


(5) 講義室・演習室の環境（広さ、照明、音響等）に対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は2人（1.1%）/177人で、前年（0.9%）と同様であった。また、それ以外の学生175人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」45.7%、「やや満足」42.3%を合わせた割合は、88.0%であった。
- ② 「不満」4.0%、「やや不満」8.0%を合わせた割合は、12.0%であった。
- ③ 自由記載では、日曜祝日の講義室・演習室開放や演習室の増設を求める意見があった。

講義室・演習室はほぼ全員の学生が利用し、9割弱の学生は満足しているが、講義室・演習室の開放時間拡大や演習室の増設を求める意見がある。

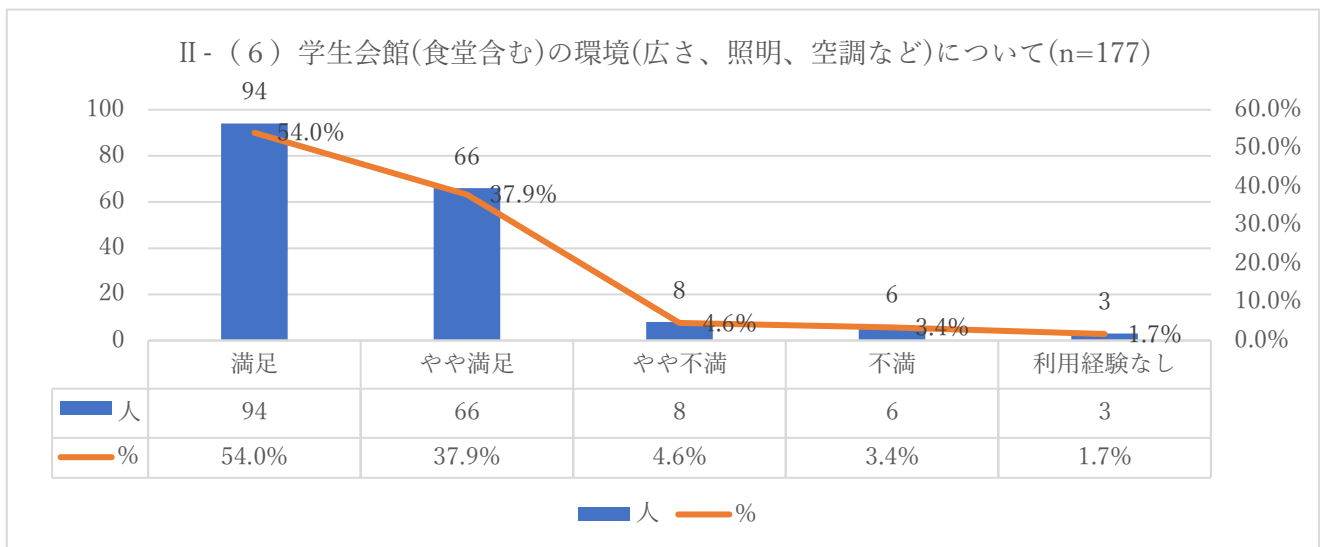


(6) 学生会館（食堂含む）の環境（広さ、照明、空調等）に対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は3人（1.7%）/177人で、前年（0.4%）より微増していた。また、それ以外の学生174人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」54.0%、「やや満足」37.9%を合わせた割合は、91.9%であった。
- ② 「不満」3.4%、「やや不満」4.6%を合わせた割合は、8.0%であった。
- ③ 自由記載では、「食堂は汗をかくくらい暑い」などの意見があった。

学生会館はほぼ全員の学生が利用し、9割強の学生は満足しているが、空調設備に関する意見がある。

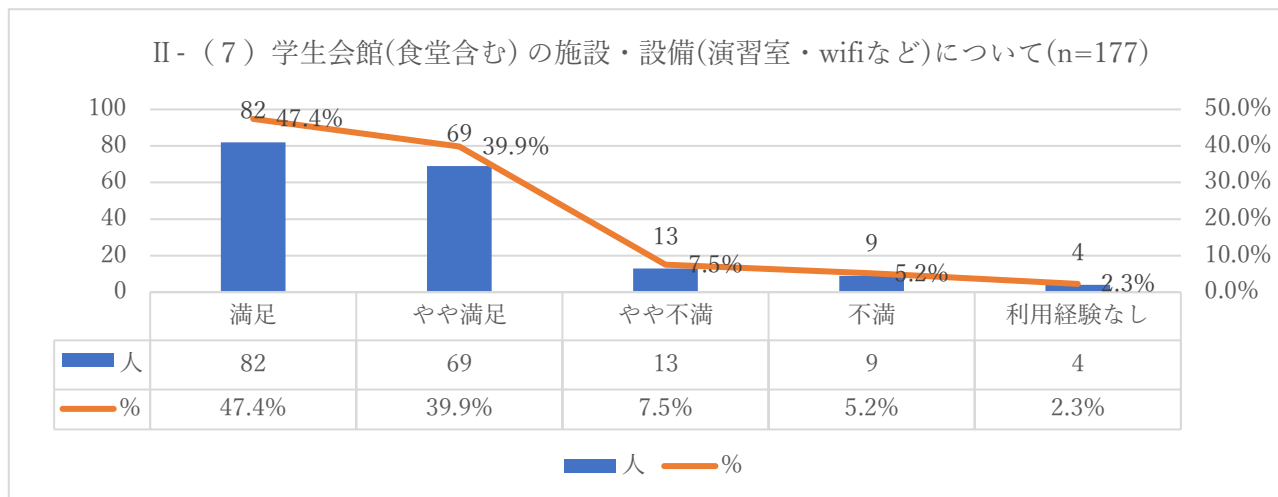


(7) 学生会館（食堂含む）の施設・設備（演習室・Wi-Fi等）に対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は4人（2.3%）/177人で、前年（1.3%）とほぼ同様であった。また、それ以外の学生173人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」47.4%、「やや満足」39.9%を合わせた割合は、87.3%であった。
- ② 「不満」5.2%、「やや不満」7.5%を合わせた割合は、12.7%であった。
- ③ 自由記載では、Wi-Fiが繋がりにくいことに対して改善を求める意見が多数あった。

学生会館の施設・設備はほぼ全員の学生が利用し、8割強の学生は満足しているが、同時に通信環境(Wi-Fi)の改善を求める意見がある。



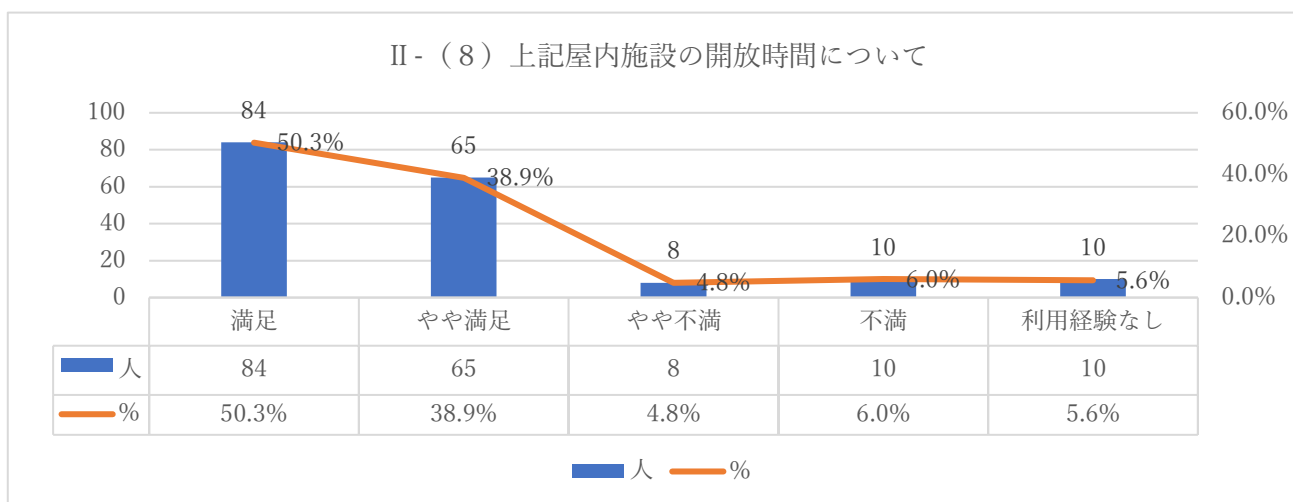
(8) 上記屋内施設の開放時間に対する満足度

図書館・講義室・自習室・演習室・学生会館の屋内施設を1つにまとめて、開放時間の設問とした。

「利用経験なし」と回答した学生は10人（5.6%）/177人で、前年（2.6%）より微増していた。また、それ以外の学生167人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」50.3%、「やや満足」38.9%を合わせた割合は、89.2%であった。
- ② 「不満」6.0%、「やや不満」4.8%を合わせた割合は、10.8%であった。
- ③ 自由記載では、自習室・演習室の日曜祝日の開放を求める意見があった。

図書館・講義室・自習室・演習室・学生会館の屋内施設はほぼ全員の学生が利用し、9割弱の学生は満足しているが、自習室・演習室の日曜祝日の開放を求める意見がある。



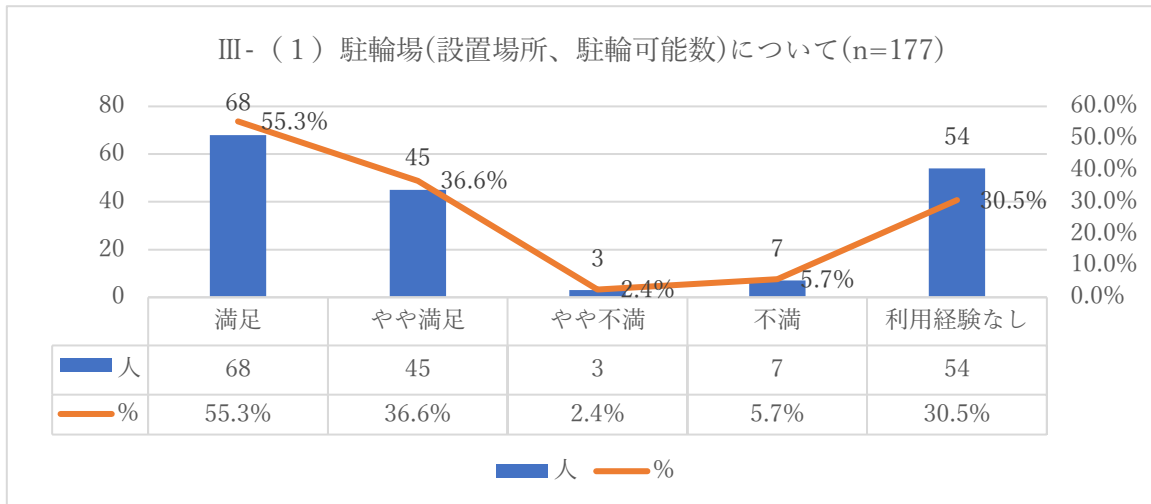
「Ⅲ. 屋外施設」に対する満足度

(1) 駐輪場（設置場所、駐輪可能数）に対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は54人（30.5%）/177人で、前年（30.4%）より少し増加していた。また、それ以外の学生123人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」55.3%、「やや満足」36.6%を合わせた割合は、91.9%であった。
- ② 「不満」5.7%、「やや不満」2.4%を合わせた割合は、8.1%であった。

駐輪場は約7割の学生が利用し、うち9割強の学生が満足しており、前年度学生自治会費で駐輪場の整備を行ったことが満足度に反映されていると考えられる。

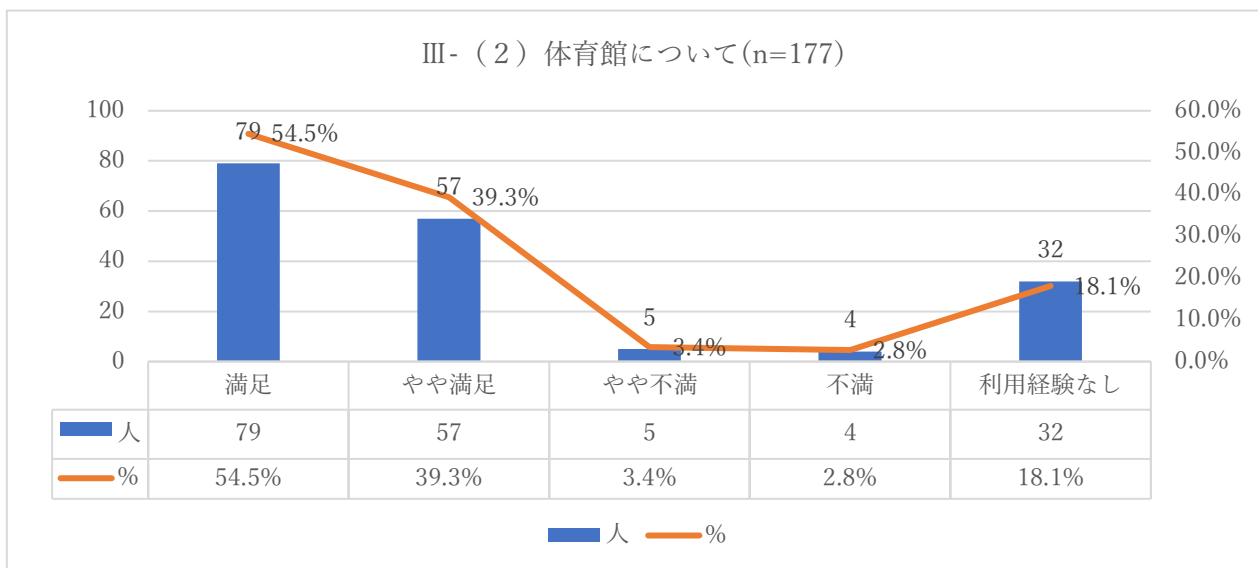


(2) 体育館・武道館に対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は32人（18.1%）/177人で、前年（18.1%）と同割合であった。また、それ以外の学生145人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」54.5%、「やや満足」39.3%を合わせた割合は、93.8%であった。
- ② 「不満」2.8%、「やや不満」3.4%を合わせた割合は、6.2%であった。
- ③ 自由記載では、体育館に空調設備の設置を求める意見があった。

体育館・武道館は8割強の学生が利用しているが、利用経験のない学生が一定数おり、体育館に空調設備の設置を求める意見がある。

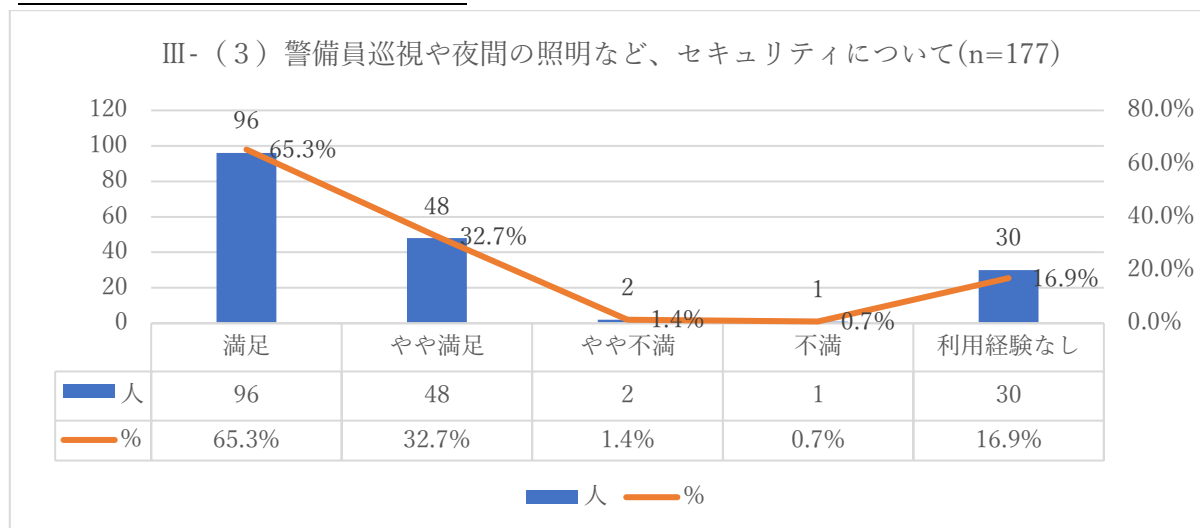


(3) 警備員巡視や夜間の照明など、セキュリティに対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は30人(16.9%) /177人で、前年(14.1%)より約3ポイント増加していた。また、それ以外の学生147人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」65.3%、「やや満足」32.7%を合わせた割合は、98.0%であった。
- ② 「不満」0.7%、「やや不満」1.4%を合わせた割合は、2.1%であった。

警備員巡視や夜間の照明などのセキュリティはほぼ全員の学生が利用し、利用経験のある学生の割合が増え、学生は概ね満足している。



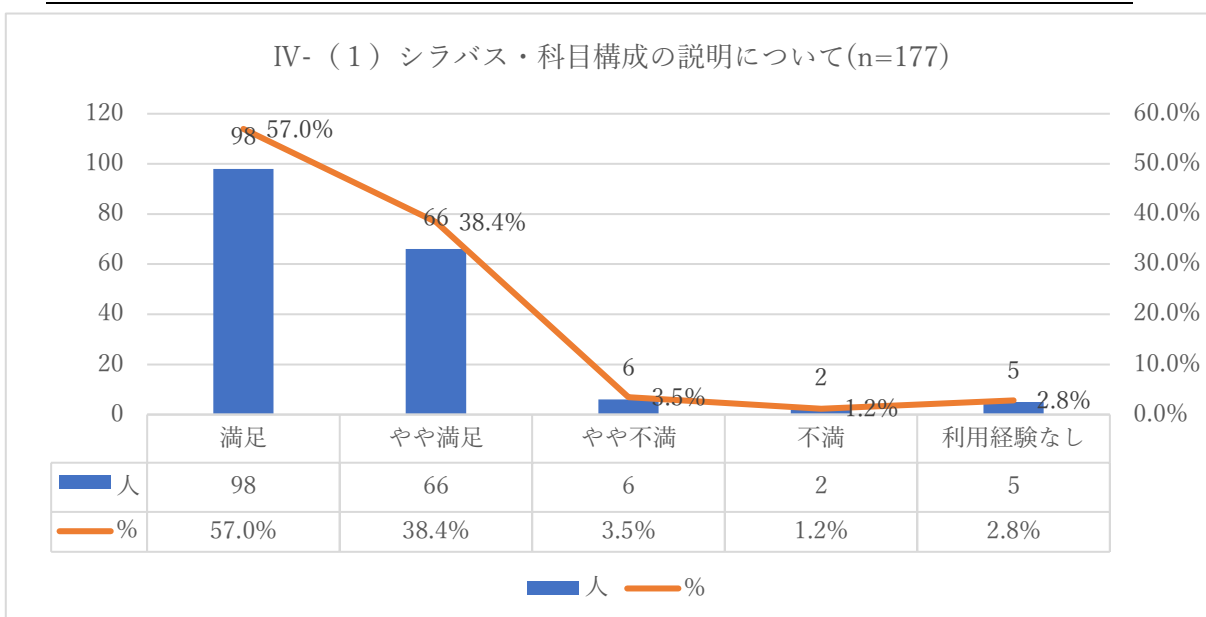
「IV. 大学生活全般」に対する満足度

(1) シラバス・項目構成の説明に対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は5人(2.8%) /177人で、前年(1.8%)とほぼ同様であった。また、それ以外の学生172人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」57.0%、「やや満足」38.4%を合わせた割合は、95.4%であった。
- ② 「不満」1.2%、「やや不満」3.5%を合わせた割合は、4.7%であった。

シラバス・項目構成の説明はほぼ全員の学生が利用し、9割強の学生は満足している。

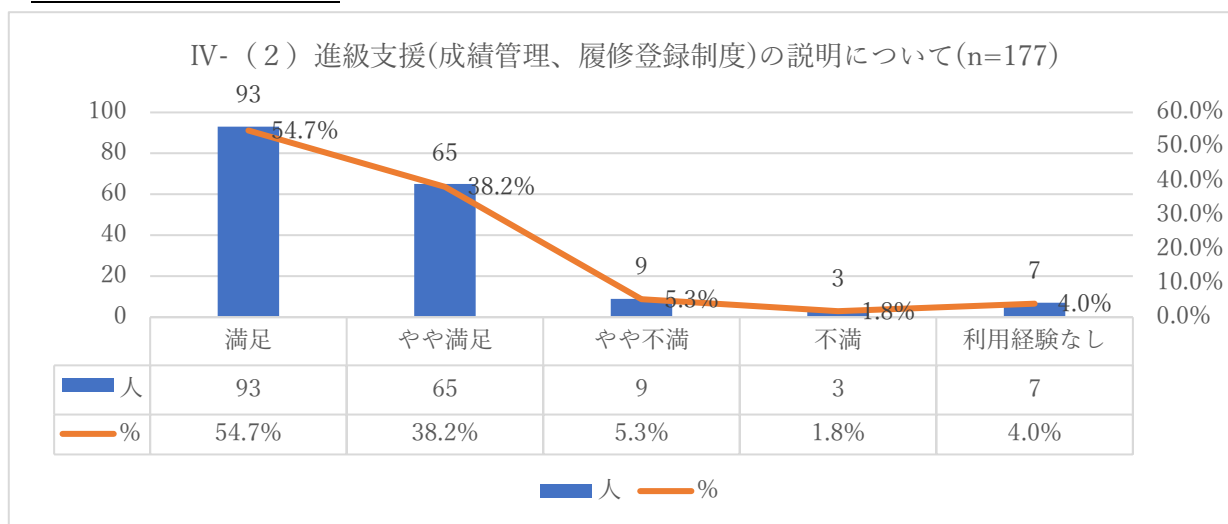


(2) 進級支援(成績管理、履修登録制度)の説明に対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は7人(4.0%) /177人で、前年(1.8%)から増加していた。また、それ以外の学生170人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」54.7%、「やや満足」38.2%を合わせた割合は、92.9%であった。
- ② 「不満」1.8%、「やや不満」5.3%を合わせた割合は、7.1%であった。
- ③ 自由記載では「履修についての説明がもう少し詳しく欲しかった(上級生の経験談を踏まえた話等)」という意見があった。

進級支援の利用経験がある学生の割合は横ばいであり、ほぼ全員の学生が進級支援を経験し、9割強の学生は満足している。

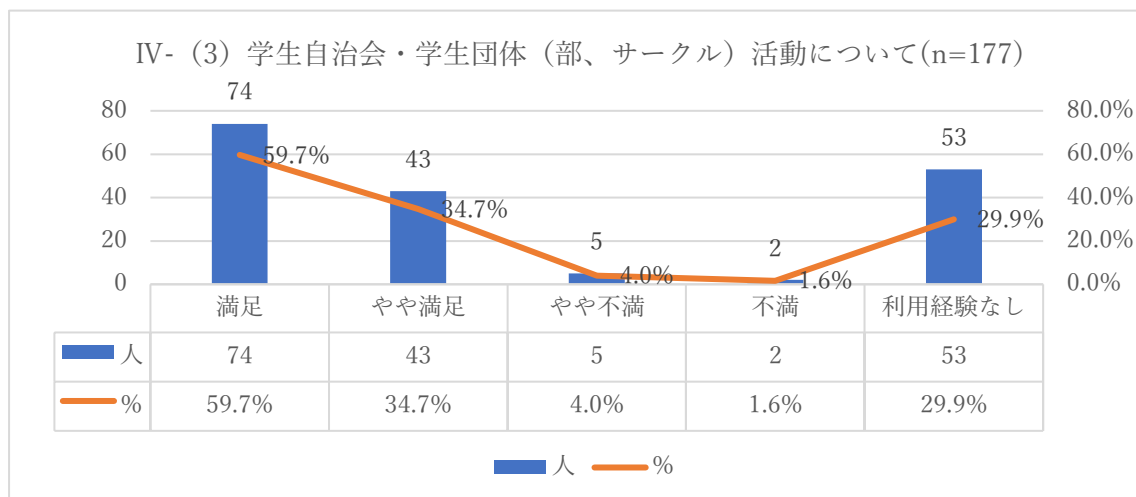


(3) 学生自治会・学生団体(部、サークル)活動に対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は53人(29.9%) /177人で、前年(31.3%)よりやや減少していた。また、それ以外の学生124人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」59.7%、「やや満足」34.7%を合わせた割合は、94.4%であった。
- ② 「不満」1.6%、「やや不満」4.0%を合わせた割合は、5.6%であった。

学生自治会・学生団体(部、サークル)活動の経験がない学生は約3割で、活動経験がある学生のうち9割強の学生は満足している。新型コロナウイルス感染症に関連した部・サークル活動の制限により学生間交流の機会が少なくなっていたことが窺えるが、徐々に活動制限が緩和されていることが満足度に反映されていると考えられる。

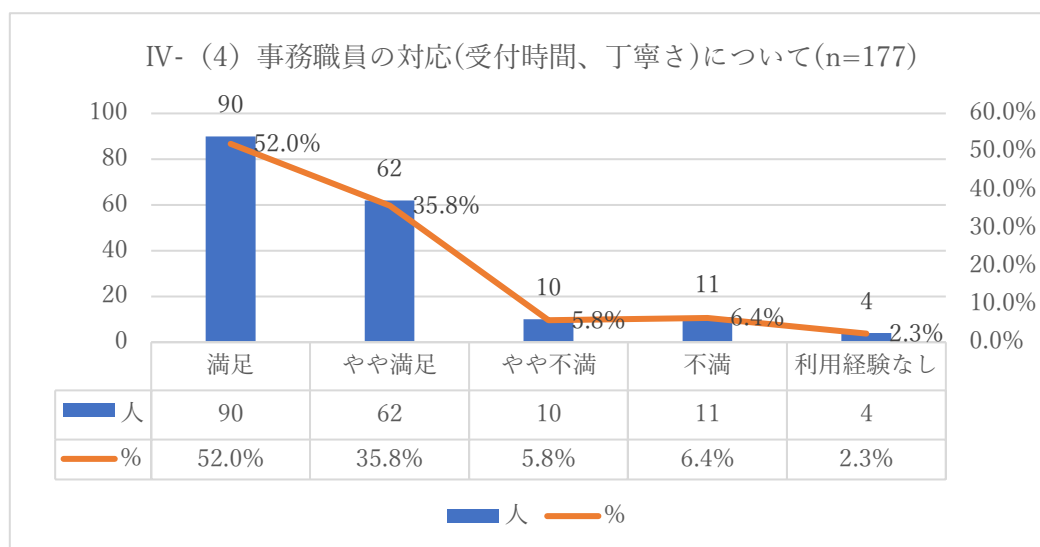


(4) 事務職員の対応(受付時間、丁寧さ)に対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は4人(2.3%) /177人で、前年(1.3%)より微増していた。また、それ以外の学生173人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」52.0%、「やや満足」35.8%を合わせた割合は、87.8%であった。
- ② 「不満」6.4%、「やや不満」5.8%を合わせた割合は、12.2%であった。
- ③ 自由記載では、「せめて、18時半まで空けておいて欲しい」という意見があり、前年度と同様、5限目以降の受付時間延長を求める意見が複数あった。

事務職員の対応はほぼ全員の学生が経験し、8割強の学生は満足しているが、5限目以降の受付時間延長を求める意見がある。

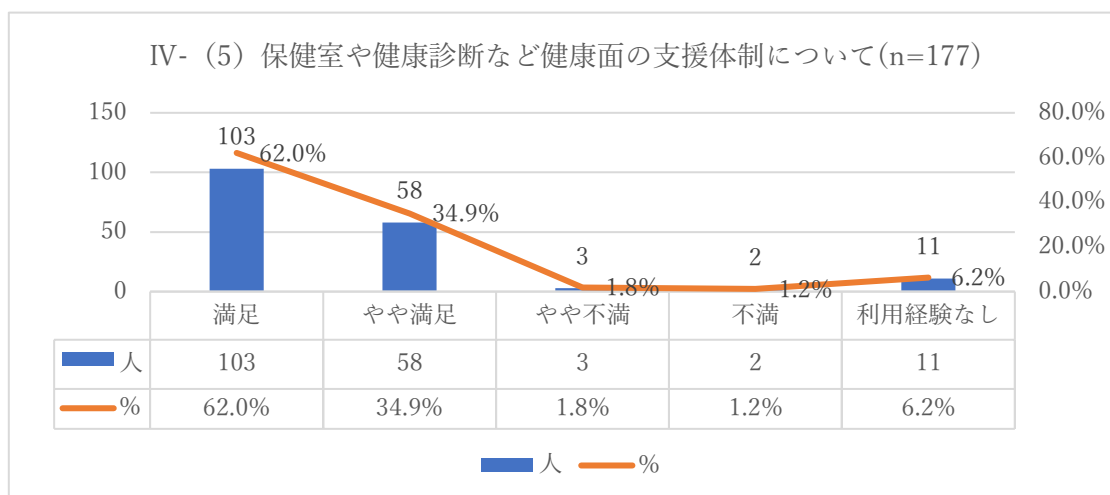


(5) 保健室や健康診断など健康面の支援体制に対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は11人(6.2%) /177人で、前年(9.7%)よりやや減少していた。また、それ以外の学生166人について、満足度の内訳を以下に示した。

- ① 「満足」62.0%、「やや満足」34.9%を合わせた割合は、96.9%であった。
- ② 「不満」1.2%、「やや不満」1.8%を合わせた割合は、3.0%であった。
- ③ 自由記載では「採血検査も毎年行いたい」という意見があった。

保健室や健康診断など健康面の支援体制は9割の学生が利用し、利用経験のある学生の割合が微増し、学生は概ね満足している。

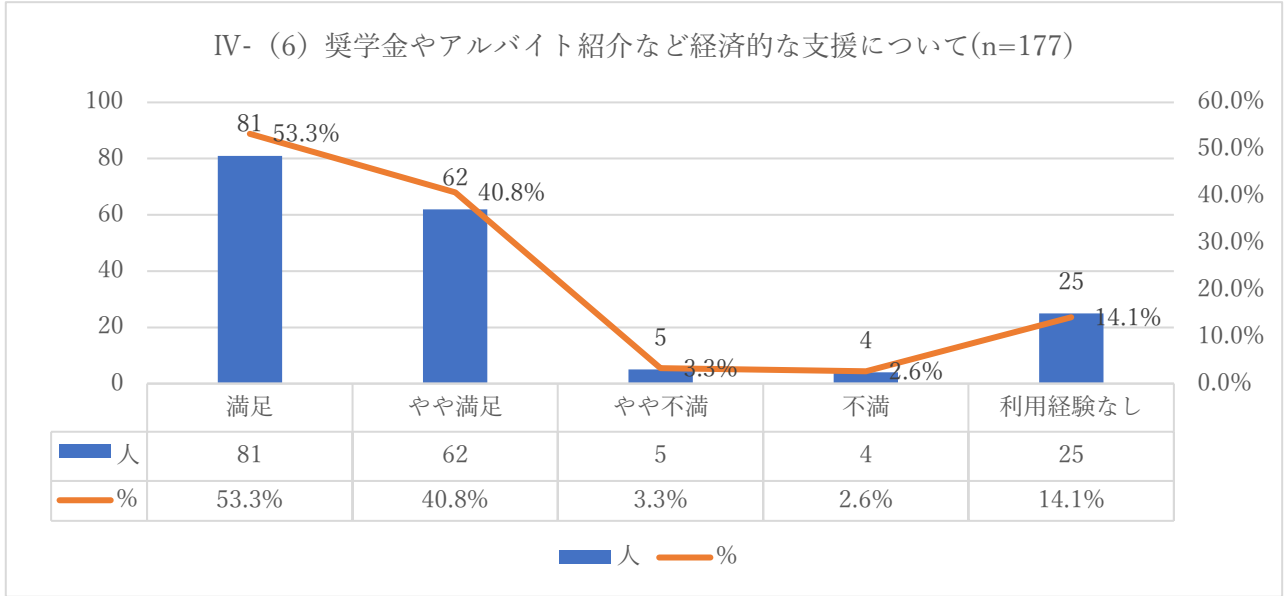


(6) 奨学金やアルバイト紹介など経済的な支援に対する満足度

「利用経験なし」と回答した学生は25人(14.1%) /177人で、前年(11.5%)よりやや増加していた。また、それ以外の学生152人について、満足度の内訳を以下に示した。

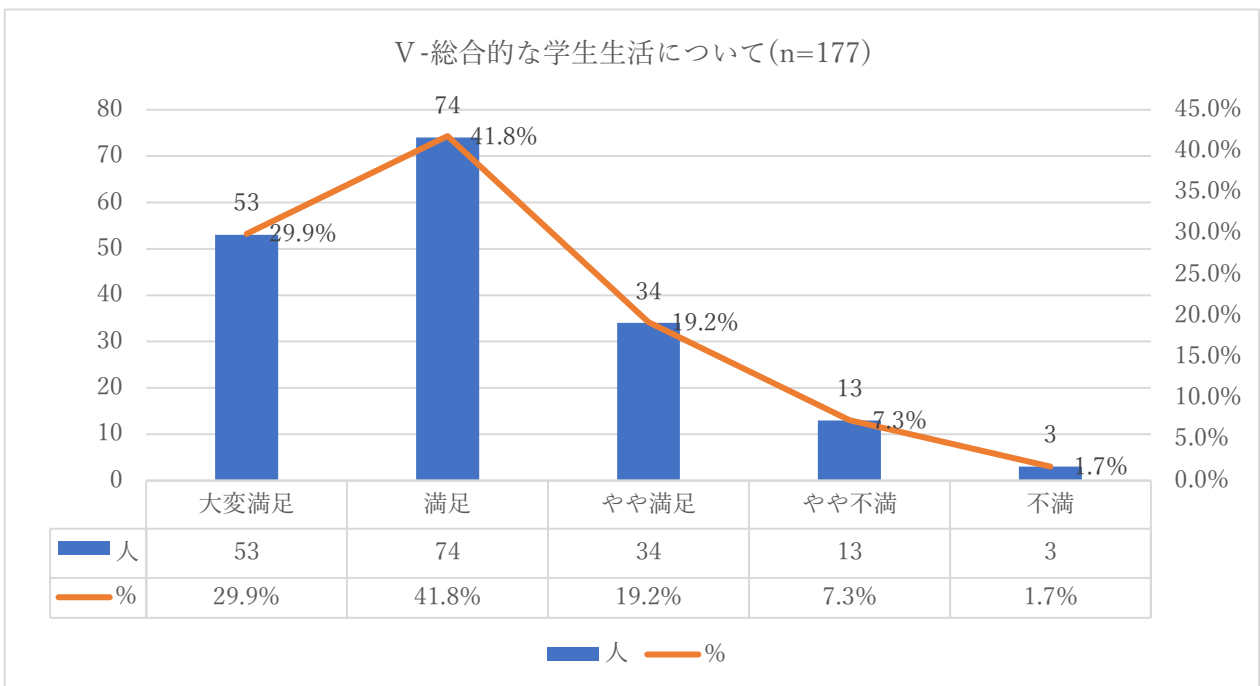
- ④ 「満足」53.3%、「やや満足」40.8%を合わせた割合は、94.1%であった。
- ⑤ 「不満」2.6%、「やや不満」3.3%を合わせた割合は、5.9%であった。

奨学金やアルバイト紹介などの利用経験のある学生は9割で少し減少傾向にあり、9割強の学生は満足している。



Ⅴ. 総合的な学生生活に対する満足度

- ① 「大変満足」29.9%、「満足」41.8%、「やや満足」19.2%を合わせた割合は90.9%で、前年の93.8%（「大変満足」30.4%、「満足」33.9%、「やや満足」29.5%）から約3ポイント減少していた。
 - ② 「不満」1.7%、「やや不満」7.3%を合わせた割合は、9.0%であった。
- 9割の学生は、総合的な学生生活に満足している。

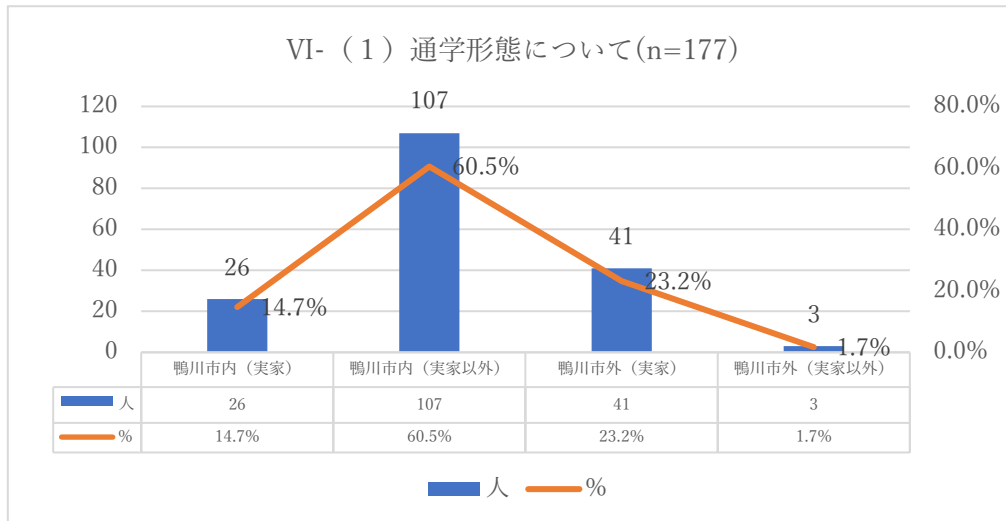


「VI. 現在の生活状況」に関する実態

(1) 通学形態について

- ① 鴨川市内に居住している学生は、「鴨川市内（実家）」14.7%、「鴨川市内（実家以外）」60.5%を合わせて75.2%であり、前年の80.1%（「鴨川市内（実家）」18.9%、「鴨川市内（実家以外）」61.2%）からやや減少していた。
- ② 鴨川市外に居住している学生は、「鴨川市外（実家）」23.2%、「鴨川市外（実家以外）」1.7%を合わせて24.9%であり、前年の19.9%（「鴨川市外（実家）」18.1%、「鴨川市外（実家以外）」1.8%）から5ポイント増加していた。

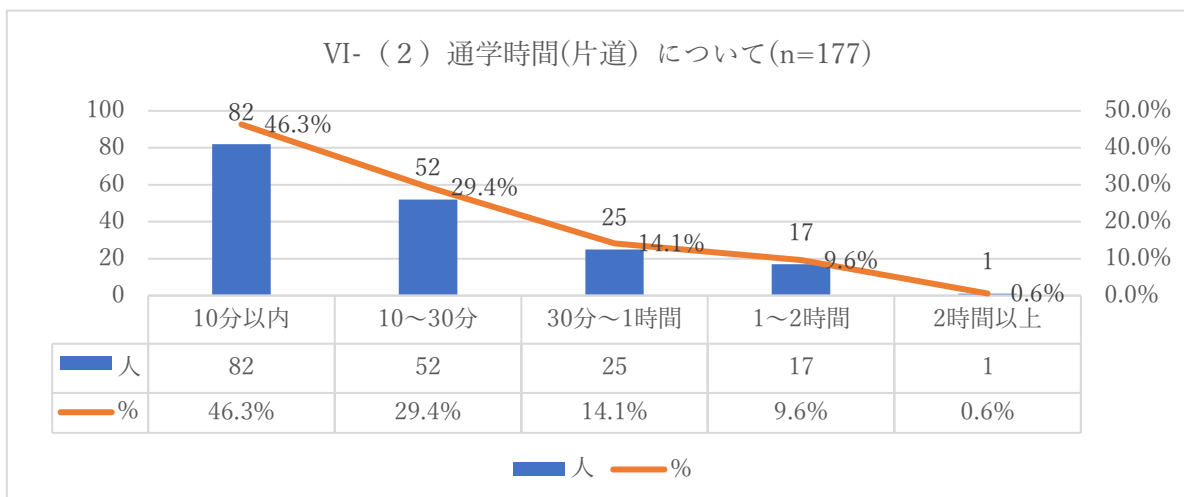
鴨川市内に居住している学生は7割強で、鴨川市外に居住している学生はほとんどが実家から通学している。



(2) 通学時間（片道）について

- ① 通学時間（片道）が30分以内の学生は、「10分以内」46.3%、「10～30分以内」29.4%を合わせて75.7%であり、前年の81.0%（「10分以内」51.5%、「10～30分以内」29.5%）より約5ポイント減少していた。
- ② 通学時間（片道）が30分以上の学生は、「30分～1時間」14.1%、「1～2時間」9.6%、「2時間以上」0.6%を合わせて24.3%であり、前年の19.0%（「30分～1時間」11.5%、「1～2時間」6.2%、「2時間以上」1.3%）よりやや増加していた。

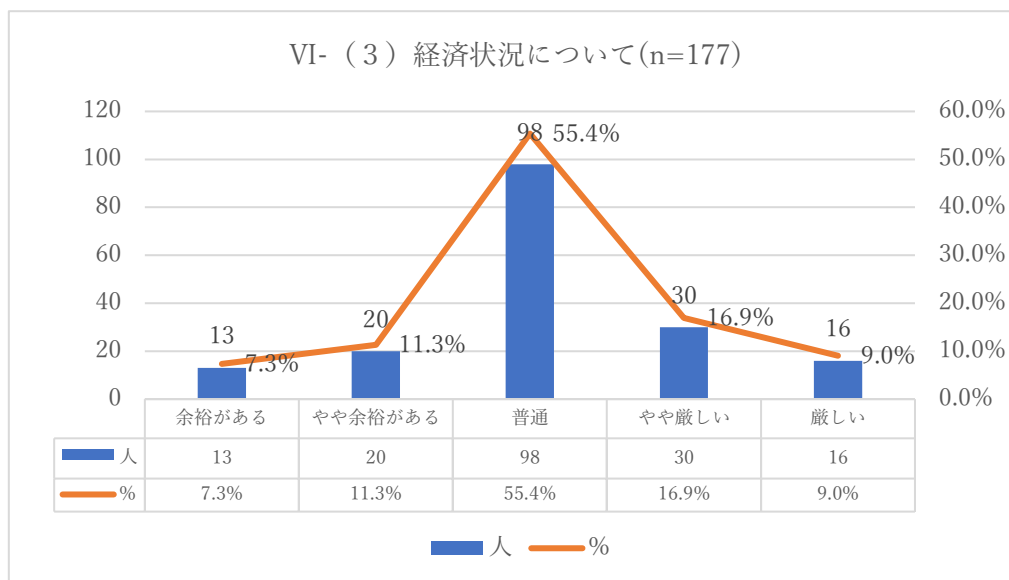
通学時間（片道）が30分以内の学生は8割で、1時間以内の学生は9割である。



(3) 経済状況について

- ① 「余裕がある」7.3%、「やや余裕がある」11.3%を合わせた割合は 18.6%であり、前年の 20.3%（「余裕がある」 11.5%、「やや余裕がある」 8.8%）よりやや減少していた。
- ② 「普通」55.4%が最も多く、前年の 49.3%に比べて約 6 ポイント増加していた。
- ③ 「厳しい」9.0%、「やや厳しい」16.9%を合わせた割合は 25.9%であり、前年の 30.4%（「厳しい」 8.4%、「やや厳しい」 22.0%）よりやや減少していたが、「厳しい」の割合が微増していた。

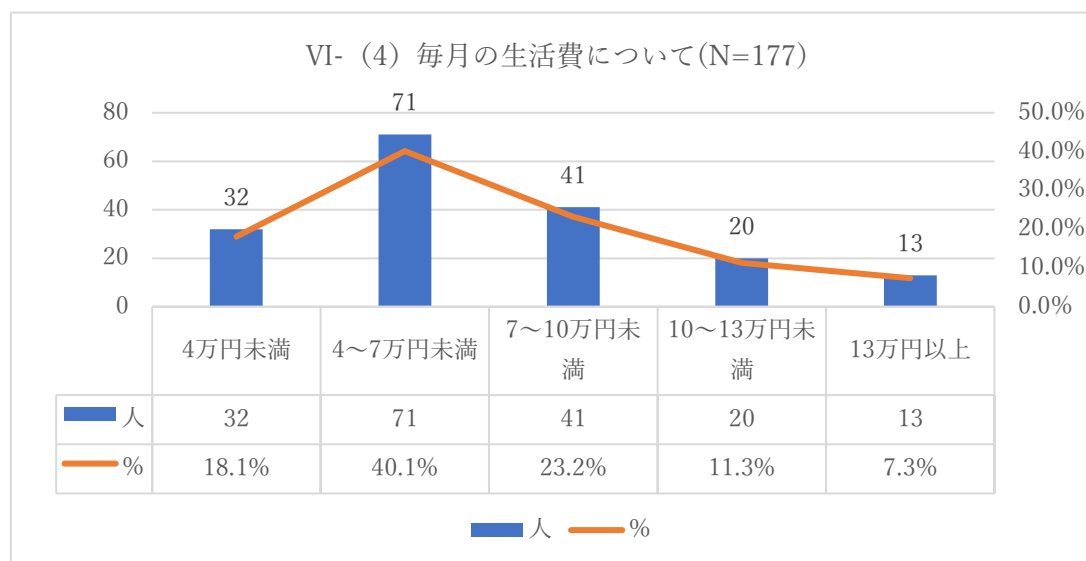
経済状況が「普通」の学生は半数強で最も多く、「厳しい」「やや厳しい」が 3 割弱、「余裕がある」「やや余裕がある」が 2 割弱を占め、「厳しい」の割合が微増している。



(4) 毎月の生活費（住居費、水道・光熱費、食費、交通費、交際費など）について

- ① 毎月の生活費は、「4～7万円未満」と回答した学生が 40.1%で最も多く、次いで「7～10万円未満」が 23.2%、「4万円未満」18.1%、「10～13万円未満」11.3%、「13万円以上」7.3%の順であった。

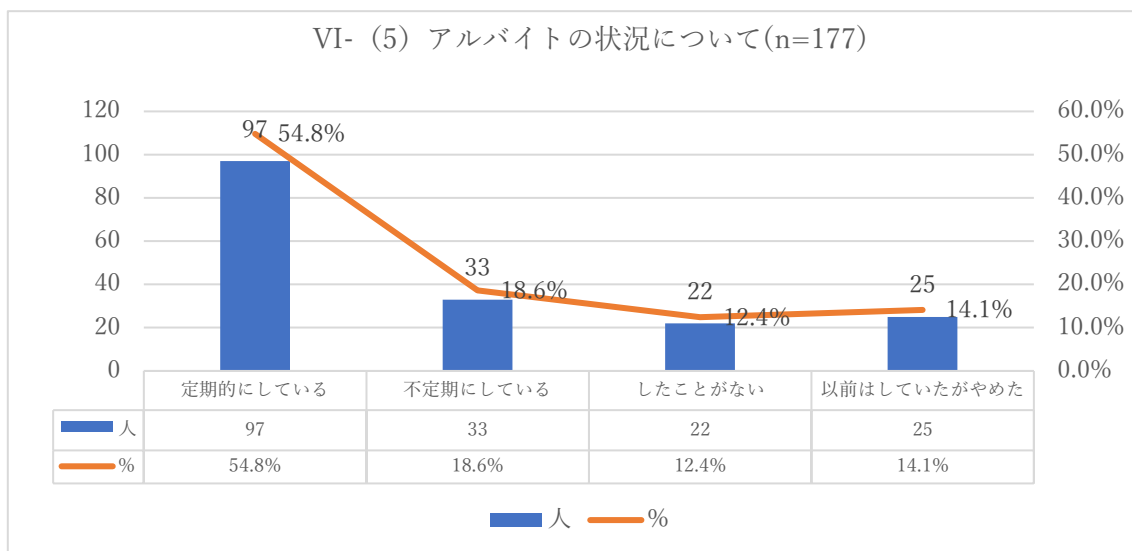
毎月の生活費が「4～7万円未満」の学生は 4 割で最も多く、8 割の学生は 10 万円未満である。



(5) アルバイトの状況について

- ① 「定期的に行っている」54.8%、「不定期に行っている」18.6%を合わせた割合は73.4%であり、前年の70.5%（「定期的に行っている」54.6%、「不定期に行っている」15.9%）から微増していた。
- ② 「以前はしていたがやめた」14.1%を加えると、アルバイト経験のある学生の割合は87.5%であった。
- ③ 「したことがない」と回答した学生は12.4%であり、前年の11.9%より微増していた。

定期的に行っている学生は過半数で、不定期も併せると7割強の学生がアルバイトをしている。その一方で、アルバイトをしたことがない学生は約1割で、微増している。

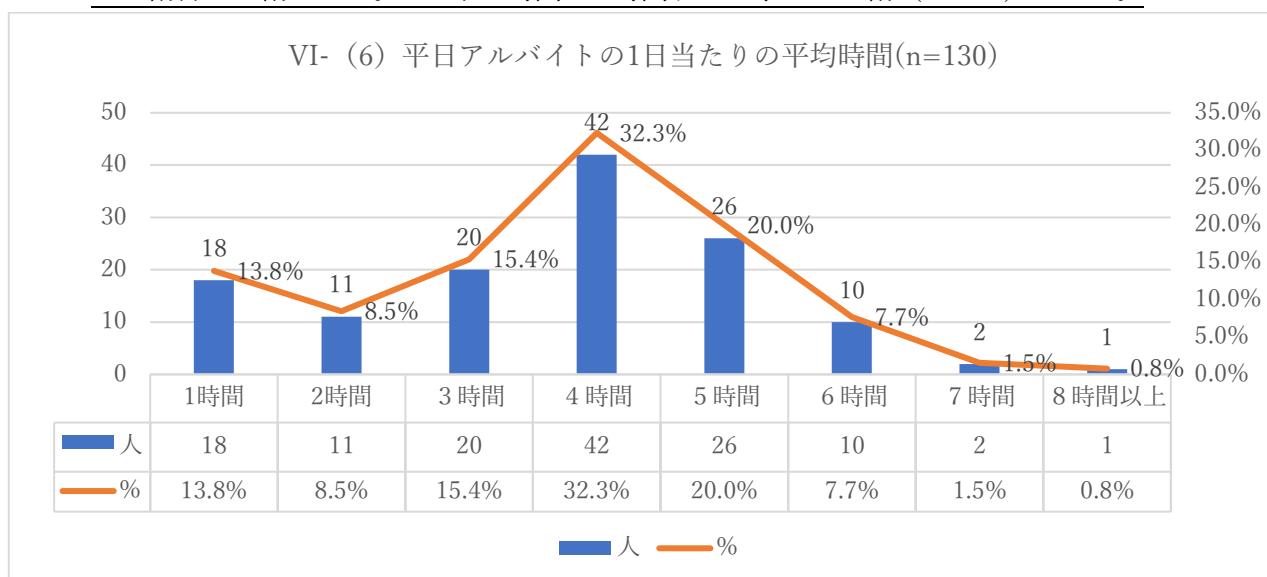


(6) 平日アルバイトの1日あたりの平均時間

上記VI- (5) で、アルバイトを「定期的に行っている」「不定期に行っている」と回答した学生130名から回答を得た。

- ① 「4時間」32.3%が最も多く、次いで「5時間」20.0%、「3時間」15.4%「1時間」13.8%であり、第1位から第4位までを合わせた割合は81.5%であった。
- ② これ以外では、割合の多い順に「2時間」8.5%、「6時間」7.7%、「7時間」1.5%、「8時間以上」0.8%であった。

平日アルバイトの1日あたりの平均時間が「4時間」の学生は約3割で最も多く、5時間までの学生の割合は9割である。また、6時間～8時間以上の学生は1割（10.0%）である。

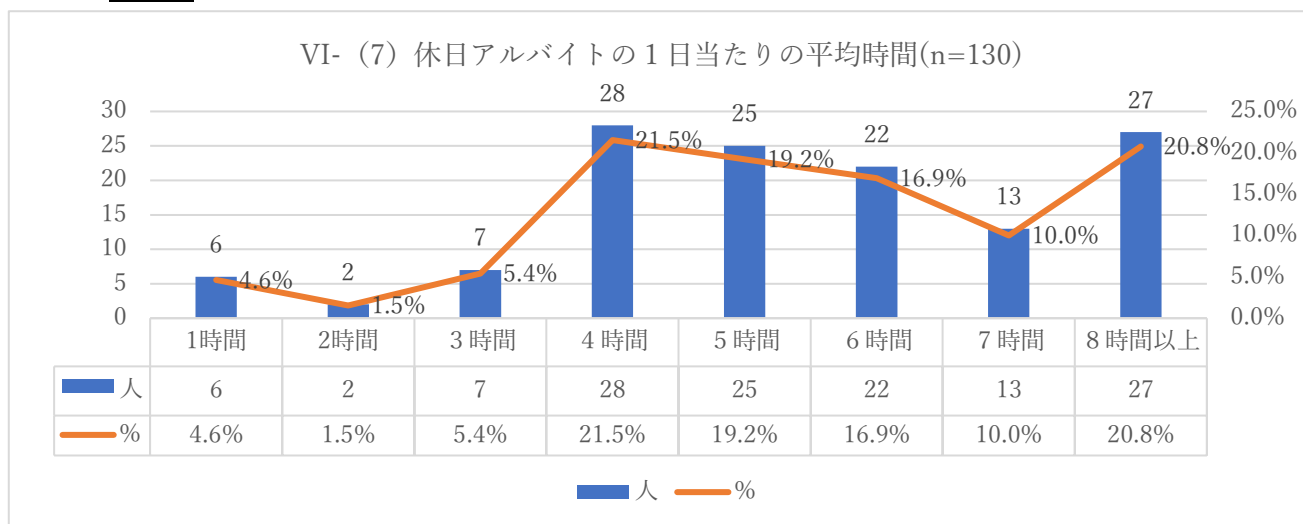


(7) 休日アルバイトの1日あたりの平均時間

上記VI- (5) で、アルバイトを「定期的に行っている」「不定期に行っている」と回答した学生 130 名から回答を得た。

- ① 「4 時間」が 21.5%で最も多く、次いで「8 時間以上」20.8%、「5 時間」19.2%、「6 時間」16.9%、「7 時間」10.0%であり、第 1 位から第 5 位までを合わせた割合は 88.4%であった。
- ② これ以外では、割合の多い順に「3 時間」5.4%、「1 時間」4.6%、「2 時間」1.5%で、合わせると 11.5%であった。

休日アルバイトの1日あたりの平均時間が「4 時間」「8 時間以上」の学生はそれぞれ約 2 割で最も多く、5 時間～7 時間の学生を合わせると 9 割弱を占める。また、1 時間～3 時間の学生は 1 割強である。

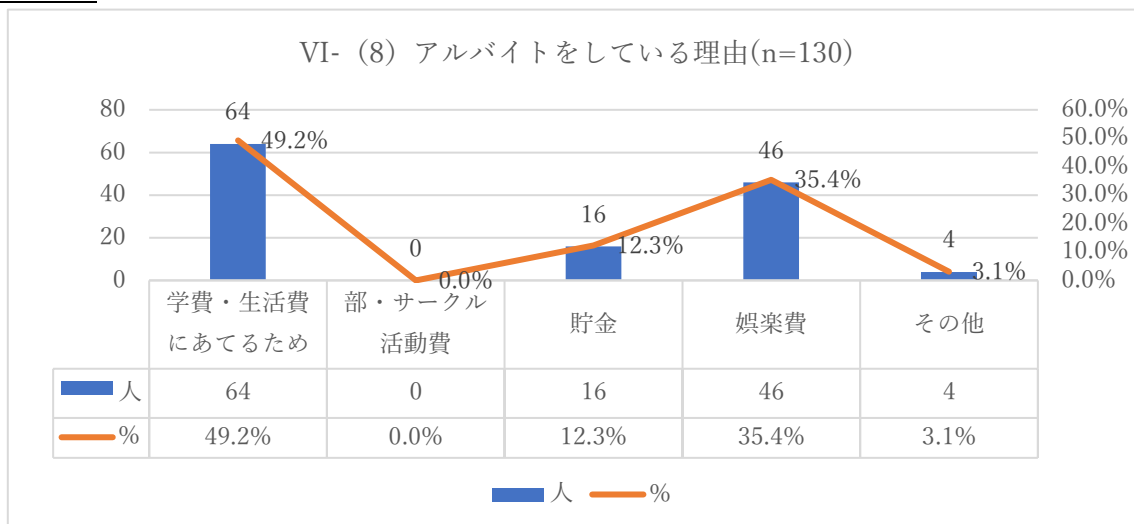


(8) アルバイトをしている最大の理由について

上記VI- (5) で、アルバイトを「定期的に行っている」「不定期に行っている」と回答した学生 130 名から回答を得た。

- ① 「学費・生活費にあてるため」49.2%が最も多かったが、前年の 55.0%より 10 ポイント減少していた。
- ② 次いで、多い順に「娯楽費」35.4%、「貯金」12.3%、「その他」3.1%であり、「その他」の内訳は「暇すぎるから」、「社会経験」、「生活する為」、「バイト自体が趣味となっている」という記載があった。

アルバイトの最大の理由は「学費・生活費」が過半数を占め最も多く、娯楽費と合わせて 8 割強(84.6%)である。

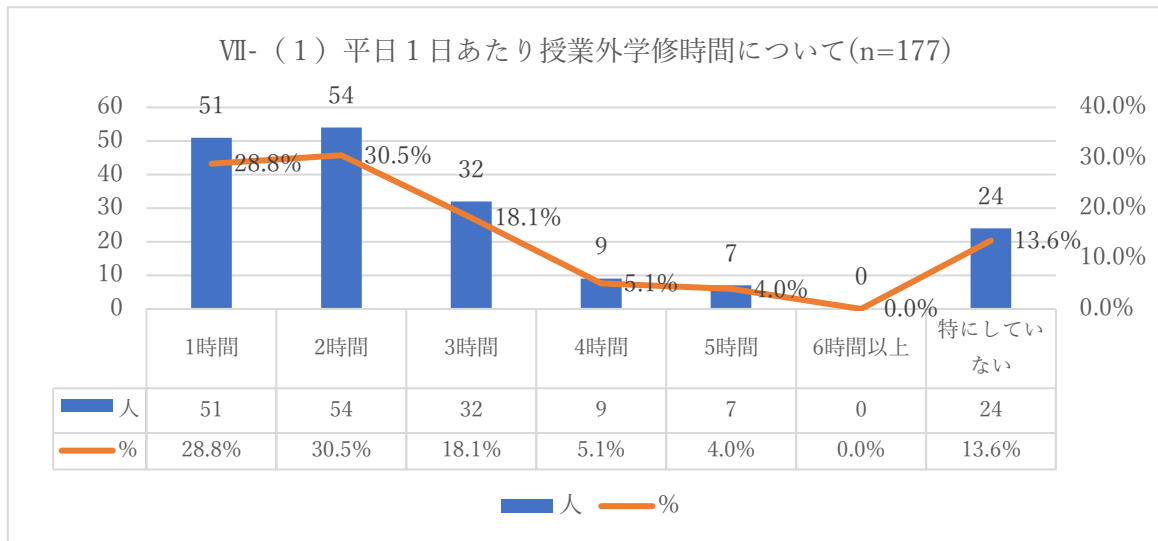


「VII. 修学の状況」に関する実態

(1) 平日の1日あたりの授業外学習時間について

- ① 「2時間」30.5%が最も多く、次いで「1時間」28.8%、「3時間」18.1%であり、第1位から第3位までを合わせた割合は77.4%で、前年の71.0%（「1時間」25.6%、「2時間」28.2%、「3時間」17.2%）より約6ポイント増加していた。
- ② 「特にしていない」13.6%は第4位で、前年（16.3%）と同様の順位であったが、割合はやや減少していた。
- ③ これ以外では、割合の多い順に「4時間」5.1%、「5時間」4.0%、「6時間以上」は0.0%であった。

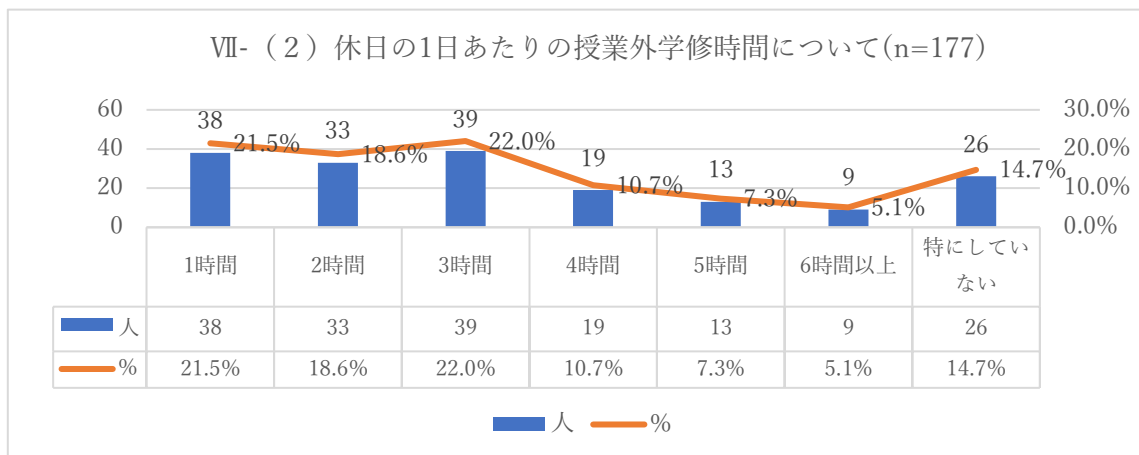
平日の1日あたりの授業外学習時間が「2時間」の学生は3割で最も多く、微増しており、3時間までの学生が8割弱を占める。一方、「特にしていない」学生は1割強（13.6%）で、減少傾向である。



(2) 休日の1日あたりの授業外学習時間について

- ① 「3時間」22.0%が最も多く、次いで「1時間」21.5%、「2時間」18.6%であり、第1位から第3位までを合わせた割合は62.1%で、前年の52.8%（「1時間」19.8%、「2時間」16.3%、「3時間」16.7%）より約10ポイント増加していた。
- ② これ以外では、割合の多い順に「特にしていない」14.7%、「4時間」10.7%、「5時間」7.3%、「6時間以上」5.1%であった。

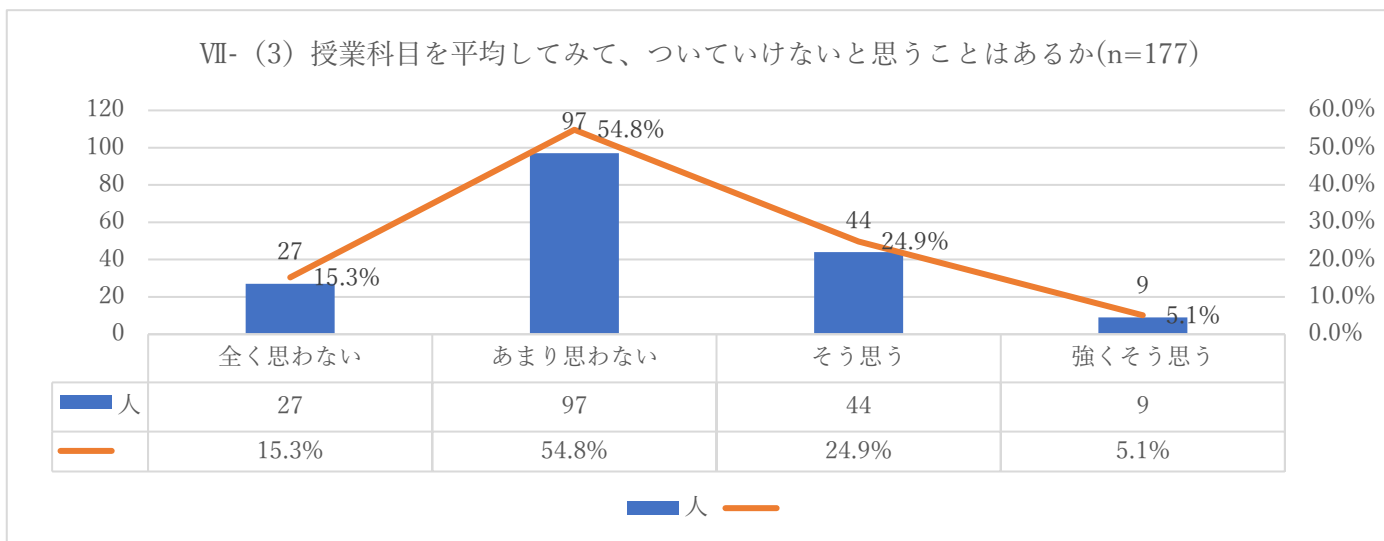
休日の1日あたりの授業外学習時間は「3時間」の学生が約2割で最も多く、3時間までの学生が約6割を占める。一方、「特にしていない」学生は1割強（14.7%）で減少傾向である。



(3) 授業全般を平均してみて、授業についていけないと思うこと

- ① 「全く思わない」15.3%、「あまり思わない」54.8%を合わせた割合は70.1%であり、前年の67.4%（「全く思わない」15.0%、「あまり思わない」52.4%）より微増していた。
- ② 「強くそう思う」5.1%、「そう思う」24.9%を合わせた割合は30.0%であり、前年の32.6%（「強くそう思う」7.5%、「そう思う」25.1%）よりやや減少していた。

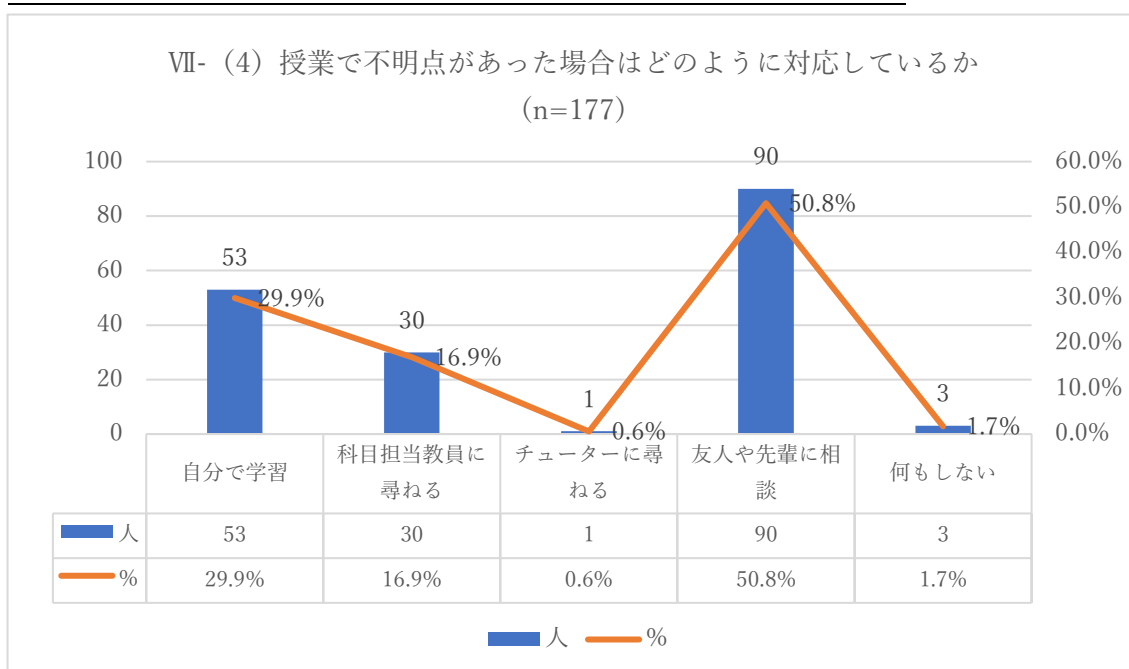
授業全般を平均して7割の学生は授業に遅れを感じていないが、授業についていけないと思う学生が3割おり、それぞれの割合は減少傾向である。



(4) 授業で不明点があった場合の対応について

- ① 「友人や先輩に相談する」50.8%が最も多く、前年の49.3%と同様であった。
- ② 「自分で学習する」29.9%が次に多く、前年の27.8%より微増していた。
- ③ 「科目担当教員に尋ねる」16.9%が3番目に多く、前年の16.7%と同様であった。
- ④ それ以外は、「チューターに尋ねる」0.6%、「何もしない」1.7%であった。

授業で不明点があった場合、友人や先輩に相談する学生は約半数、自分で学習する学生は約3割、科目担当教員に尋ねる学生は2割弱でそれぞれの割合は前年同様である。

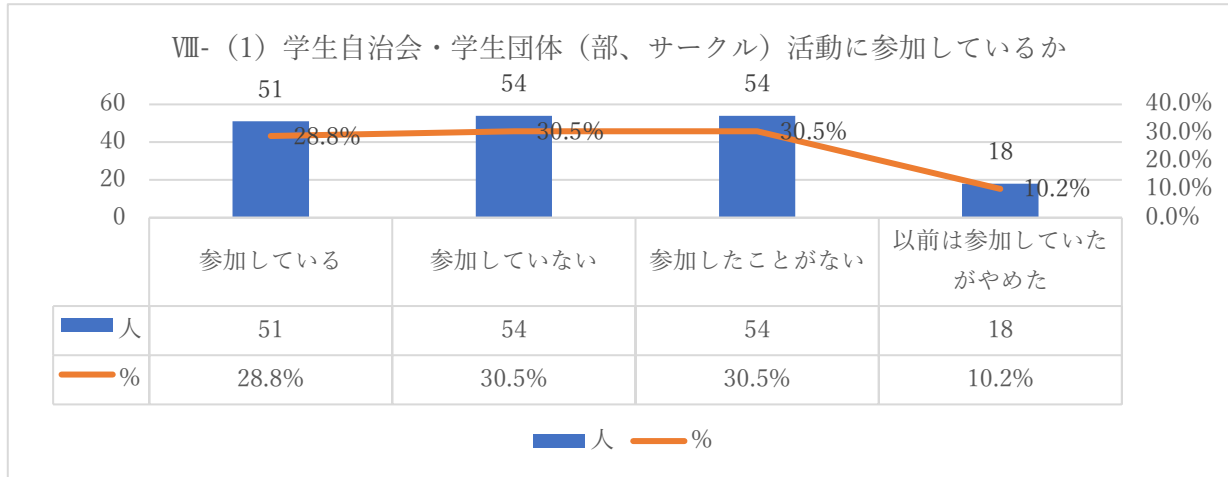


「Ⅷ. 学生自治会・学生団体（部、サークル）活動」に関する実態

(1) 学生自治会・学生団体（部、サークル）活動の参加状況について

- ① 「参加している」28.8%、「以前は参加していたがやめた」10.2%を合わせた割合は39.0%であり、前年41.0%（「参加している」20.3%、「以前は参加していたがやめた」20.7%）よりやや減少傾向であった。
- ② 「参加していない」「参加したことがない」は同率30.5%で、合わせた割合は61.0%であり、前年59.0%（「参加していない」27.3%、「参加したことがない」31.7%）より微増していた。

学生自治会・学生団体（部、サークル）活動に参加したことがない学生は3割で割合は変わらず、参加している学生は約3割で増加している。また、参加経験のある学生は約4割である。

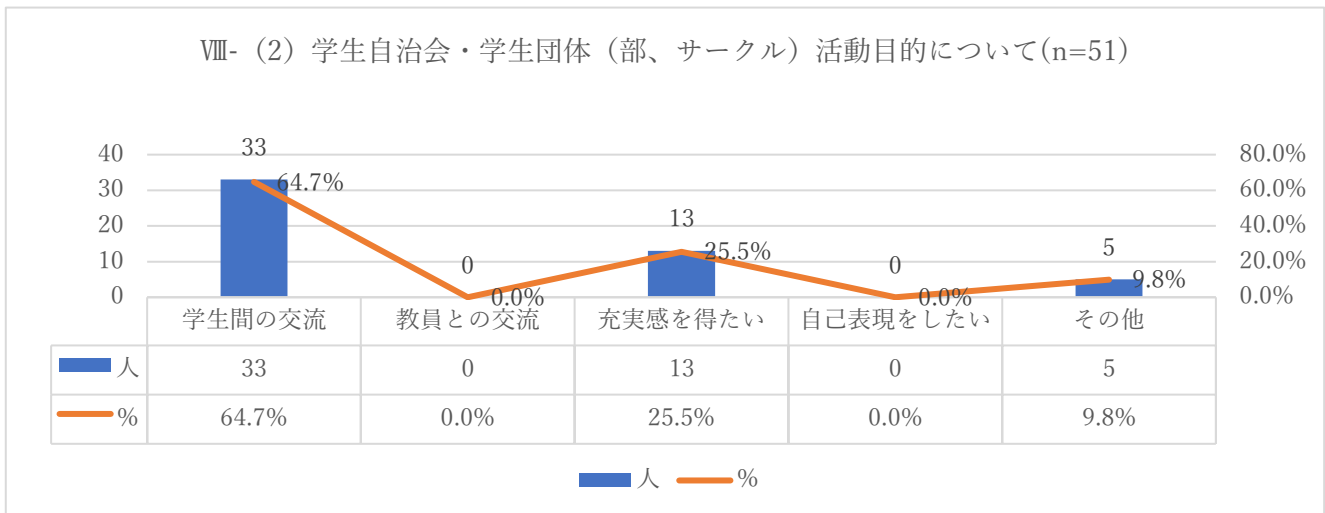


(2) 学生自治会・学生団体（部、サークル）活動参加の最大の目的について

上記Ⅷ- (1) で、学生自治会・学生団体（部、サークル）活動に「参加している」と回答した学生51名から回答を得た。

- ① 「学生間の交流」64.7%が最も多く、次いで順に「充実感を得たい」25.5%、「その他」9.8%であり、前年（「学生間の交流」58.7%、「充実感を得たい」21.7%、「自己表現したい」13.0%、「その他」6.5%）と比較すると「自己表現したい」と回答している学生が0.0%と皆無であった。
- ② 「その他」9.8%の内訳は、「運動不足解消」、「ストレス解消」、「バドミントンが好きだから」であった。

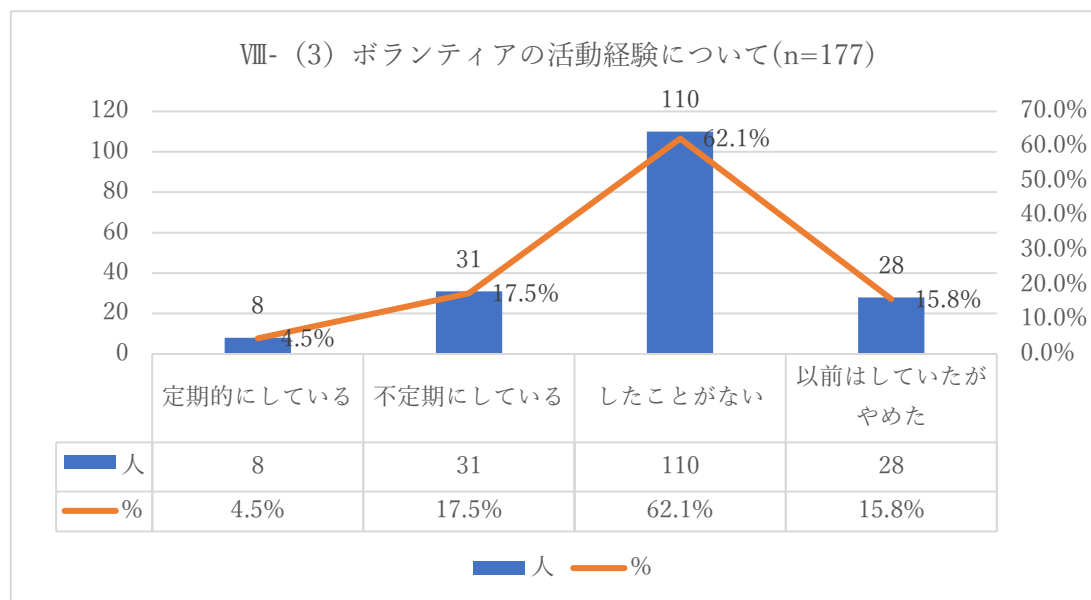
学生自治会・学生団体（部、サークル）活動参加の目的は、学生間の交流が6割強で最も多い。



(3) ボランティア活動の経験について

- ① 「したことがない」62.1%が最も多く、前年の64.8%よりやや減少していた。
- ② 「不定期にしている」17.5%は次に多く、前年の12.8%より約5ポイント増加していた。
- ③ 「以前はしていたがやめた」15.8%は第3位で、前年の15.9%と同様であった。
- ④ 「定期的に行っている」4.5%は最も少なく、前年の6.6%よりやや減少していた。

ボランティア活動をしたことがない学生は6割強で前年よりやや減少し、以前していた・不定期にしている・定期的に行っている学生は3割強である。

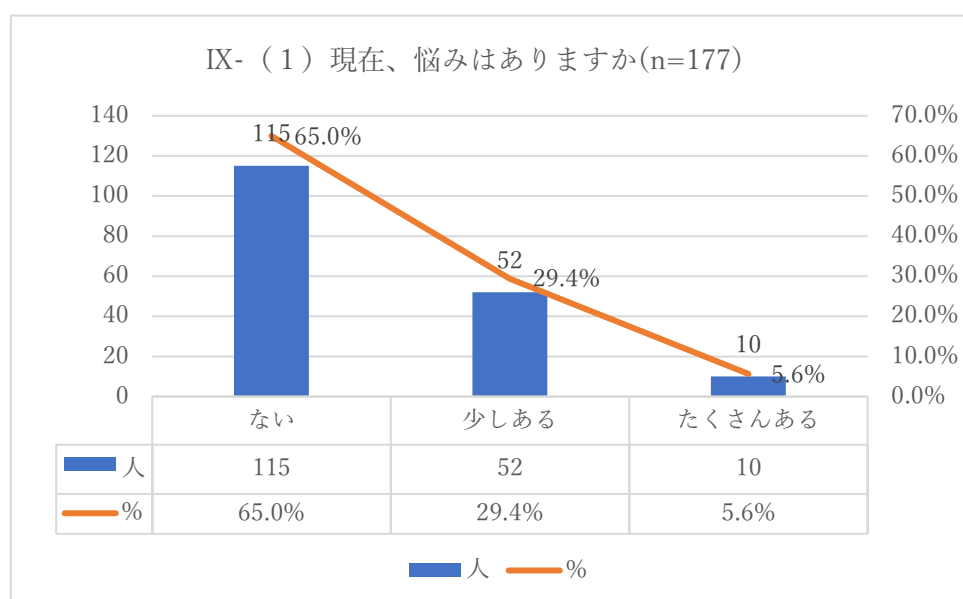


「IX. 学生生活の悩み」に関する実態

(1) 現在、悩みがあるか

- ① 「ない」65.0%が最も多く、前年の58.6%より増加していた。
- ② 「少しある」29.4%、「たくさんある」5.6%の順に多く、合わせると35.0%であり、前年の41.4%（「少しある」33.5%、「たくさんある」7.9%）より約6ポイント減少していた。

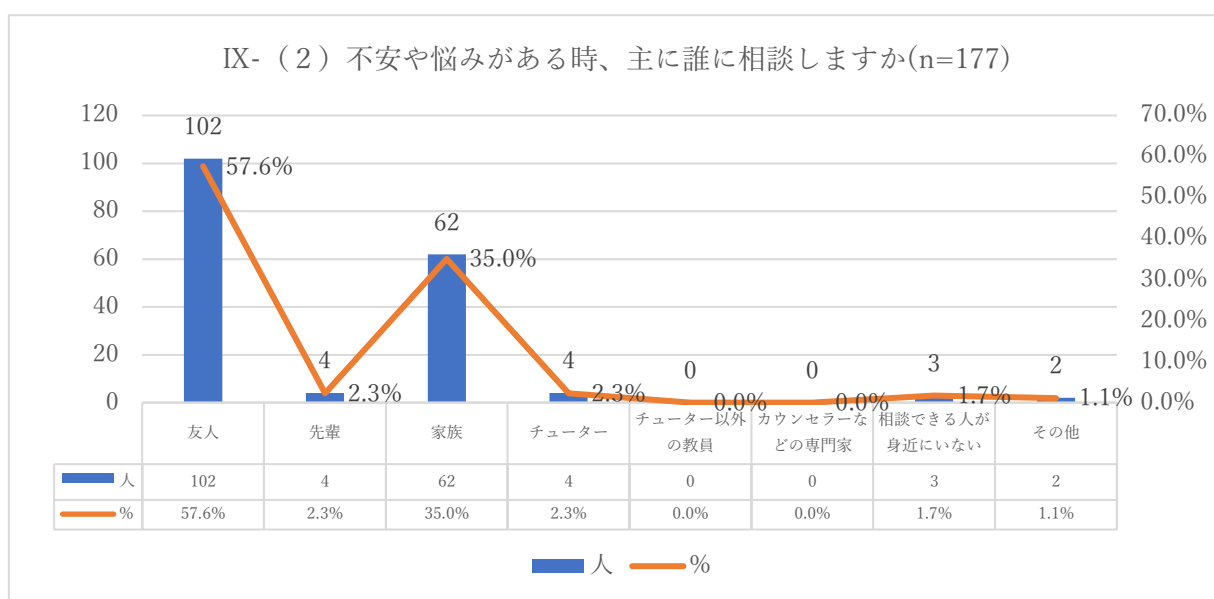
現在の学生生活の悩みがない学生は6割強で前年より増加し、悩みのある学生は3割強で、悩みの程度が少しの学生が8割強を占める。



(2) 不安や悩みがある時の主な相談相手について

- ① 「友人」57.6%、「家族」35.0%を合わせると 92.6%であり、前年の 83.7%（「友人」59.0%、「家族」24.7%）から約9ポイント増加していた。
- ② 「相談できる人が身近にいない」1.7%は第5位で、前年の6.2%より大幅に減少していた。
- ③ これ以外には、「チューターの教員」2.3%、「チューター以外の教員」「カウンセラーなどの専門家」は各0.0%で合わせると2.3%であり、前年の6.2%（「チューターの教員」4.0%、「チューター以外の教員」1.8%、「カウンセラーなどの専門家」0.4%）より大幅に減少していた。
- ④ 「その他」1.1%の内訳は、相談しない、（選択肢以外の）誰かであった。

不安や悩みがある時の主な相談相手は友人が過半数を占め、次に家族で、その割合は9割である。相談できる人がいない学生は1.7%で、前年より激減している。チューターの教員、チューター以外の教員、カウンセラーなどの専門家の割合は2.3%と前年より激減している。



「X. 自由記載」の主な内容とその分析結果

項目 (件数)	主な内容	分析結果
学生支援について (4件)	<ol style="list-style-type: none"> 1. チューターに関すること <ul style="list-style-type: none"> ・チューターによって受験などへのサポート体制が全く違い、不公平に感じる ・関心がなさそうで話しづらい 2. VOICE ボックスについて <ul style="list-style-type: none"> ・VOICE ボックスに投函しても返信がない 	<p>前年度同様、チューターによる対応の違いについて意見があり、教員間で対応の統一化を図ることができるよう、引き続き全教員がチューターとしての役割を再認識して学生と向き合っていく必要がある。また、今年度より1から3学年までは学年ごとに学年主任、副主任の役割を設け、チューターだけでなく相談窓口を増やすことで学生対応の充実を図る体制を整備した。今後はさらに新体制における学生の声を反映し、学生支援の充実に向けた取</p>

		<p>り組みを検討していく必要がある。</p> <p>VOICE ボックスへ投函された意見については返答を掲示しているが、左記意見があることから、大学からの返答を掲示していることをアナウンスし、周知を継続していく必要がある。</p>
<p>屋内施設について (23件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターを使用可能にしてほしい ・Wi-Fi を強くしてほしい ・自習室でうるさい学生がいて勉強する時に迷惑 ・情報処理室を土曜日も開放してほしい (自習室の PC が使用できないため) ・演習室や自習室の日曜祝日の開放や開放時間を延長してほしい ・男子トイレを増やしてほしい 	<p>電力需給ひっ迫に対して節電のためエレベーターの使用禁止や講義室の5限終了後の施錠を行っているが、施設費用を支払っているにも関わらず利用できないことが不満だという意見が多数寄せられていた。このことから、節電の実施目的が伝わっていないことが明らかとなった。引き続きエレベーター利用禁止の目的をアナウンスし、啓発することで正しい理解と協力を得る必要がある。</p> <p>また、前年度調査と同様、Wi-Fi 接続に関する意見が多く寄せられていた。サーバーのトラブルが関連し、学内の PC や PC 関連機器が円滑に使用できなかったことが大きく関連していると考えられる。引き続き通信環境の整備について検討していく必要がある。</p> <p>演習室等施設の開放拡大を求めるものについては、夜間や休日の施設開放に伴う危険等が考慮されていることを学生に伝え、開放時間が設けられている根拠も含め、学生が理解できるように引き続きアナウンスしていく必要がある。また、自習室を荷物置き場として利用している学生がいる等、自習室の有効活用がされておらず、使用したい学生が使用できていない現状があるため自習室の使用についても引き続きアナウンスしていく必要がある。</p>
<p>屋外施設について (8件)</p>	<p>1. 駐車場に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部生も駐車場使用を許可してほしい ・職員駐車場を利用している学生を注意 	<p>前年の調査でも同様に、学部生の無断駐車についての意見があり、今年度より定期的に駐車場の巡回、および無</p>

	<p>してほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近辺の月極駐車場を借りて使用している学生もいるのに、無断で職員駐車場を利用している学生がいるのはおかしい <p>2. 駐輪場に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生会館横の駐輪場に屋根を設置してほしい ・駐輪場のスタンドの数を増やしてほしい 	<p>断駐車車両に注意喚起の貼り紙を行っている。引き続き、学部生に無断駐車禁止のアナウンスを継続し、大学の対応についても周知徹底していく必要がある。</p> <p>学生会館横の駐輪場については、強風時の自転車横転について意見があり、前年度自治会費で駐輪場の輪留めスタンドが設置された。対応したことで、自転車の横転については意見が無く、改善することができたと考えられる。今年度は、屋根の設置について意見があり、施設整備における今後の検討課題である。</p>
<p>大学生活全般について (13件)</p>	<p>1. 体育館の使用に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館にエアコンを設置してほしい ・サークル活動や部活以外で事前申請不要で体育館を自由に使える開放時間を作ってほしい <p>2. 事務の対応に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務職員の連絡事項（特に日程変更）の伝達を早くしてほしい ・問い合わせをした時の対応を早くしてほしい 	<p>体育館の開放を求める意見があった。新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う部活動やサークル活動に制限が緩和されていることから、学生間の交流や気分転換の機会を望む声が反映されていると考えられる。引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大状況や国や実習医療施設の方針を踏まえながら学生の活動制限解除においてその都度適切な対応を検討していく必要がある。</p> <p>学生への連絡事項の伝達時期や掲示などの伝達方法については、教職員間で連携を図り、確認を重ねて行うなど改善策を講じていく必要がある。</p>
<p>その他 (13件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本館に自動販売機を増やしてほしい ・本館にロッカーを設置してほしい ・講義室の指定席をやめてほしい（エアコンが当たる場所で寒い） ・スクールバスの本数を増やしてほしい 	<p>講義室の指定席については今年度より学年の受講態度に応じて決定された取り組みである。座席指定によって空調設備の影響などについては学習環境を整えるために教員が把握し、改善を講じる必要があると考えられる。また、空調機器において全ての個別対応は困難であるため、必要時は上着や掛物等の防寒具を持参するなど学生にも協力の必要性をアナウンスしていく必要がある。</p>

		<p>スクールバスの増便については、利用者数と運営費用を併せて今後の検討課題である。</p>
--	--	--

7. 学生生活満足度に関する評価および改善の方向性

「Ⅰ.学生支援」の各項目において学生の利用が促進されている現状が明らかとなり、学生の満足度では9割以上の評価が得られていた。「Ⅱ.屋内施設」については概ね利用されており、学生の満足度では8割から9割の評価が得られていた。しかし、自習室の設備（パソコン、Wi-Fi、複合機等）に対する満足度は6割の評価であり、前年度発生した通信環境のトラブルが大きく影響していると考えられる。「Ⅲ.屋外施設」については、7割（駐輪場）から8割以上の学生の利用状況が明らかとなり、学生の満足度では9割以上の評価が得られていた。「Ⅳ.大学生活全般」では、特に学生自治会・学生団体活動の経験のない学生は約3割を占め、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う部・サークル活動の制限が生じていたことにより学生間交流の機会が少ないことが窺えたが、学生の満足度では9割以上の評価が確保できていた。また、それ以外の項目では9割以上の利用が確認され、8割から9割以上の評価が得られていた。「Ⅴ.総合的な学生生活に対する満足度」では、9割強の学生は学生生活に満足しているという肯定的評価が得られた。

これらの結果に基づき、今後さらなる改善の方向性については、主にオフィスアワーの利用者の拡大、図書館利用経験なしの学生数ゼロの達成、屋内施設の通信環境の整備等を中心に検討する必要があると考える。

8. 学生生活の実態に関する評価および改善の方向性

学生の「生活状況」「修学の状況」「学生自治会・学生団体活動の状況」「学生生活の悩み」について詳細が明らかとなり、本学の学生生活の特徴が示された。特に、アルバイトの1日当たりの平均時間（平日）は半数以上の学生が4～5時間行っており、1日当たりの平均学習時間の減少傾向と関連があると考えられる。これらのことから、引き続き積極的に学習支援を継続していく必要性が示された。

また、学生自治会・学生団体（部、サークル）活動の参加経験がある学生は約7割だが、「以前は参加していたがやめた」と答えた学生が1割おり、学生自治会・学生団体（部、サークル）活動の参加学生が減少傾向であることが明らかとなった。これは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学生生活に制限が設けられていたことが関連していたと考えられる。今年度より学生自治会・学生団体（部、サークル）活動の制限が緩和されていることから、適切な感染対策と同時に、学生の学習支援や学生生活の充実を図ることができるよう、学生支援を工夫して継続していく必要がある。